

A20 Android4.2マニュアル

株式会社日昇テクノロジー

http://www.csun.co.jp

info@csun.co.jp

作成日 2014/7/5



copyright@2014



• 修正履歴

NO	バージョン	修正内容	修正日
1	Ver1.0	新規作成	2014/7/5

※ この文書の情報は、文書を改善するため、事前の通知なく変更されることがあります。 最新版は弊社ホームページからご参照ください。「http://www.esun.co.jp」 ※ (株)日昇テクノロジーの書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に 禁じられています。



目次

第一	·章 Android 開発環境の構築	. 5
第二	章 Android システムコンパイル	. 6
	2.1 ソースコード構成説明	. 6
	2.2 linux カーネルのコンパイル	. 6
	2.3 Android4.2 ソースコードのコンパイル	. 9
	2.4 イメージファイルをパッケージ化する	10
	2.5 One キーでコンパイルとイメージファイルをパッケージ化	11
第三	三章 A20 システムイメージのダウンロード	15
第四	章 A20 システムのカスタマイズ実例	16
	4.1 sys_config. fex 設定ファイル	16
	4.2 実例	16
	4.2.1 HDMI 出力の表示フォーマットを設定	16
	4.2.2 VGA 出力に設定	17
	4.3 出力の表示方式を動的に変更する方法	17
	4.3.1 display_param.cfg 設定ファイルを編集	17
	4.3.2 ボードの TF スロットに挿し込み、パワーを入れる。	18
	4.4 設定情報	18
	4.4.1 システム (system)	18
	4. 4. 2 TFRAM	21
	4.4.3 GPU(mali)	22
	4.4.4 2D 加速(G2D)	22
	4.4.5 ネットワーク (Ethernet MAC)	22
	4.4.6 I2C バス	24
	4.4.7 シリアルポート(UART)	24
	4.4.8 SPI バス	28
	4.4.9 抵抗スクリーン (rtp)	30
	4.4.10 静電スクリーン(capacitor tp)	31
	4.4.11 タッチキー (touch key)	32
	4.4.12 $\pm -\beta \rightarrow (motor)$	33
	4.4.13 フラッシュ (nand flash)	33
	4.4.14 表示を初期化(disp init)	34
	4.4.15 LCD スクリーン 0	36
	4.4.16 LCD スクリーン 1	40
	4.4.17 カメラ (CSI)	44
	4.4.18 TV 出力(TV OUT)	50
	4.4.19 SATA ディスク	50
	4. 4. 20 TF/MMC	51
	4.4.21 メモリスティック (menory stick)	55
	4.4.22 SIM カード	55
	4.4.23 PS/2 マウス	56
	4.4.24 CAN バス	56



4.4.25 マトリックスキーボード (key martrix)	57
4.4.26 USB コントロールフラグ	58
4.4.28 重力センサー(G SENSOR)	
4. 4. 29 GPS	
4.4.30 WIFI(TFIO)	
4.4.31 WIFI(USB)	63
4. 4. 32 3G	63
4.4.33 gyroscope	
4.4.33 光センサー	
4.4.35 コンパス(compass)	
4.4.36 bluetooth	
4.4.37 デジタルオーディオバス (I2S)	
4.4.38 デジタルオーディオバス (S/PDIF)	
4.4.38 スピーカー制御	
4.4.40 赤外線(ir)	
4.4.41 PMU パワー	
第五章 Android アプリ環境の構築	
5.1 Ubuntu で android アプリ環境を構築	
5.1.1 JDK をインストール	
5.1.2 eclipse をインストール	
5.1.3 Android TFK をインストール	
5.1.4 ADT (Android Development Tools) をインストール	
5.1.5 ADT (Android Development Tools) を設定	
5.1.6 Android OS システムとコントローラを追加	
5.1.7 シミュレータ設定を行う	
5.1.8 hello, android テストプログラム	
5.2 windowsXP で android アプリ開発環境を構築	

. **



第一章 Android 開発環境の構築

手軽にAndroidシステム開発環境を構築できる様に、ubuntu-12.04-SmdtSDK-amd64.iso(付属DVDのimage フォルダ)を作成し提供している。このファイルはubuntu - 12.04 64bit OSシステムに基づき、事前に Android4.4システムの開発環境とツールをインストールした。

詳細は「A20_Android開発環境構築マニュアル.pdf」ファイルをご参考ください。



第二章 Android システムコンパイル

Androidソースコードコンパイルは二つの部分に分ける。一つはlinuxカーネルのコンパイル(ubootも含む)とAndroidソースコードコンパイルである。独自に機能としてコンパイルして、最後に書込み用のイメ ージファイルにパッケージ化する。

2.1 ソースコード構成説明

ソースコードパッケージA20-420-V12_XXX.tar.bz2(XXXの部分はバージョン及び日付が付いている)を共用フォルダSMDT-A20のディレクトリにコピーして、解凍する。



設定はデフォルトでarmパラメータ、コマンドを実行したあと、次のインタフェースが現れる。



低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする



コンパイルする。下図の通りに







2.3 Android4.2 ソースコードのコンパイル

Android4.2ディレクトリに入って、スクリプトを実行する。

smdt@smdt:~/SMDT-A20/A20-420-V12\$ cd android4.2/

smdt@smdt:~/SMDT-A20/A20-420-V12/android4.2\$ source build/envsetup.sh

そして lunch

smdt@smdt:~/SMDT-A20/A20-420-V12/android4.2\$ lunch

次のように選択メニューを表示する。



Make 時間は約2時間がかかる(i5 4コア8Gメモリの場合)。最後に、Android4.2ディレクトリに out ディ レクトリを生成する。

最後に boot. img、revovery. img、system. img 三つのイメージファイルを生成する。

x1nhangdao@x1nhang	dao:~/xHD-A20/A20-420-V12/	/android4.2/out/target/	product/wing-	box203\$
xinhangdao@xinhang	dao:~/XHD-A20/A20-420-V12/	/android4.2/out/target/	product/wing-	1box203\$ 1s
android-info.txt	installed-files.txt	ramdisk.img	recovery.img	system.img
boot.img	kennel	ramdisk-recovery.img		
clear_steps.mk				userdata. img
	previous_build_config.mk	recovery.fstab		
xinhanodao@xinhano	dao:~/XHD-A20/A20-420-V12/	(android4.2/out/target)	/product/wing-	box203\$



2.4 イメージファイルをパッケージ化する

最終に書き込みイメージファイルをパッケージ化する。Android4.2ディレクトリで直接 pack する。もし 単独でパッケージする場合は、次の手順で行う。

smdt@smdt:~/SMDT-A20/A20-420-V12/android4.2\$ source build/envsetup.sh

smdt@smdt:~/SMDT-A20/A20-420-V12/android4.2\$ lunch

Lunch の表示:

🙁 🗇 🗇 🗴 xinhangdao@xinhangdao: ~/a20/A20-420-V12/android4.2	
You're building on Linux	
Lunch menu pick a combo: 1. full-eng 2. full_x86-eng 3. vbox_x86-eng 4. full_nips-eng 5. full_grouper-userdebug 6. full_tilapia-userdebug 7. min_armv7a_neon-userdebug 8. mini_armv7a-userdebug 9. mini_mips-userdebug 10. mini_x86-userdebug 11. full_manta-userdebug 13. full_toroplus-userdebug 14. full_toro-userdebug 15. wing_k70-eng 16. wing_mbox203-eng 17. full_panda-userdebug	
which would you like? [full-eng] 16	
smdt@smdt:~/SMDT-A20/A20-420-V12/android4	25 extract_bsp
😣 🖨 💼 🛛 xinhangdao@xinhangdao: ~/XHD-A20/A2	20-420-V12 🕅
xinhangdao@xinhangdao:~ 🗱	xinhangdao@xinhangdao:~/XHD-A20/A20-42 🗱
xinhangdao@xinhangdao:~/XHD-A20/A20-420- /home/xinhangdao/XHD-A20/A20-420-V12/and piedu	-V12\$ extract_bsp froid4.2/device/*/wing-mbox203/bImage co
/home/xinhangdao/XHD-A20/A20-420-V12/and opied!	droid4.2/device/*/wing-mbox203/modules o
xinhangdao@xinhangdao:=/XHD-A20/A20-420-	V125

パッケージして生成後の表示。Sun7i_android_wing - mbox203. img は最終に ROM に書き込むイメージである。





この時、書き込む用の Sun7i_android_wing - mbox203. img イメージファイルが生成した。

2.5 One キーでコンパイルとイメージファイルをパッケージ化

コンパイルとパッケージ化の手順をもっと簡易にできる様に、build. sh と pr.j. sh 二つのスクリプトを提供する。

まず、build.sh のソースコードを紹介する。



et/bin/sh	
Description : Android Build Script. Authors : yxchen - cyx12030qq.com Yersion : None Notes : None	
export ANDROID_JAVA_HOME=/usr/lib/jvm/java-G-sun/ BULLD_SCRIPT_TOP_DIR=/(cd_dirings; pmd)	
PRODUCT=mbox203 #52	
PROJECT-wing	
CONFIG_KERNEL-sun7ismp_android_defconfig CONFIG_FILESYSTEM_ANDRDID	
ANDROID_SOURCE_TOPDIR=) AND A SCHOOL AND	
setup_environment()	
cd [[scole_scoler_ter_eter]]] return 1	
puild_kernel()	
cd return 1 rm lichee/linux-3.3/.config ./build.sh -p sun7i_android return 0	
bufld_system()	
<pre>cd later is sole. To return 1 if [-f m</pre>	
<pre>echo "File \$[woworm_powerm]out/target/product/[[PUDICT]-[[PUDDCT]/system/build.prop not existin" fi source_bwild/envsetup.sh </pre>	
attract_bsp make	
ed_booting() od Sweeting.com [] return 1	
build_Ah -p auroiandroid source build_enversaria.sh burch _build_enversaria.sh	
wake boot have 11 metarn 1 webo "pack boot, ing OAT" >42 }	
turild_ota_package()	
source hulld/envsetup.sh Jonch get_about esta ctapackage -filmenen return 1	
<pre>cp</pre>	
echs "> 542 echs "> 45 "Auto ata package have been build. The path is <u>Reduces of</u> a)/update. The star return 0	
through -1: Kernel -no: Subtem-no:	
ff [-z], j; then kernel-sus System-yes	
while ["]; do case; "	
x- threads- ℓ-j- -∞ ¹ j ¹	
<pre># motion to \$2,00 per to \$10 to</pre>	
-k(karma)) kerneloses	
-51255100) 8.1xt8m-yes -010123)	
iii -iii -iiii bi -ibi0 -iiii -iiii	
-http://www.anditation.com	
thaps: build in [orTion] build script for compile the source of telectrips project.	
-j=n using n threads when building source project (example: -j=16) -6, -second build kernel from source file and using default config file -5, -system build file system from source file -b,boaring pack heating -b,bar bar lag pack to face	
-pen which project/platfrom you Bulld (example: -p=c20.cs) -a,all build all principle anything (example: -p=c20.cs) -b,belp display this help and exit Cos	
exit 0	
even for the striction events and tells are performed and tells are performed and tells are performed and tells	
shift data	





一行だけの表現式である。目的は対応するプロジェクトを選択する。例えば、今 wing_mbox203 - eng を使っていて、build. sh は自動的にこのプロジェクトのソースコードをコンパイルする。

最後に、コンパイル方法を紹介する。



直接に現在の sdk ソースコードパスで:

#./build.sh -help

でコマンドの説明が見える。

もし単独にカーネルをコンパイルする場合に、

 $\#.\,/\text{build.sh}$ -k

もし単独にファイルシステムをコンパイルする場合に、



#./build.sh -s

もし全部コンパイルする場合に、

#./build.sh -a

recovery モードアップグレードする場合に、

- #./build.sh -a (前に既に実行したら、省略できる)
- #./build.sh -o
- 一般的には、#./build.sh -a を推奨する。





第三章 A20 システムイメージのダウンロード

付属 DVD の¥manual¥A20_install_manual.pdf をご参照ください。



第四章 A20 システムのカスタマイズ実例

4.1 sys_config.fex 設定ファイル

sys_config.fexはボードの関連機能の設定ファイルである。このファイルを修正することによって、各機能モージュルドライバのenable、close、及び他のパラメータを設定ができる。

ユーザーはハードウエアモジュールのニーズによって、設定と修正を行って、対応するドライバ機能を実 現する。もしこれだけでまだニーズに合わない場合はICのdatasheet「A20 user manual V1.0 20130322.pdf」 をご参照してカスタマイズ必要です。

sys_config.fexファイルのパス:

lichee/tools/pack/chips/sun7i/configs/android/wing-mbox203/ (実際のプロジェクト名によって違う。ここでwing-mbox203は本例のプロジェクト名である。)



4.2.1 HDMI 出力の表示フォーマットを設定

1、sys_config.fexファイルを編集 #cd lichee/tools/pack/chips/sun7i/configs/android/wing-mbox203 #vim sys_config.fex

```
2.修正
```

Screen0_output_type=xx スクリーン0出力タイプ(O:none、1:lcd、2:tv、3:hdmi、4:vga)





低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

Screen0_output_mode=xx

スクリーン0出力モード (used for tv/hdmi output、0:480i 1:576i 2:480p 3:576p 4:720p50 5:720p60 6:1080i50 7:1080i60 8:1080p24 9:1080p50 10:1080p60 11:pal 14:ntsc)

Screen_output_type=3 Screen_output_mode=5 表示タイプはHDMI、750 P60HZのフォーマットで出力する。

3. イメージファイルを再パッケージする。 Android4.2 ディレクトリに入って、以下の操作を実施し、新しいイメージファイルを生成する。

#source build/envsetup.sh
#lunch
#16 // (注意:この選択は自分のプロジェクトと関連する)
#extract_bsp
#pack
新生成したイメージファイルをダウンロードする。

4.2.2 VGA 出力に設定

1、HDMIと同じように設定する。

デフォルトの出力 screen0_output_type = 3 screen0_output_mode =5

を screen0_output_type = 4 screen0_output_mode =11

に変更する。

即 VGAタイプ、PALフォーマットで出力する。 他の手順はHDMIと同じ。

4.3 出力の表示方式を動的に変更する方法

実際には、表示デバイスを変更する時に、再びコンパイル、パッケージ、ダウンロードするのはとても 複雑です。この問題を解決するために、出力の表示方式を動的に変更する方法を紹介する。

4.3.1 display_param. cfg 設定ファイルを編集

まず、要求通りに付属された資料のdisplay_param.cfgファイルを編集する。実際のニーズによって、 screen0_output_typeとscreen0_output_modeを修正する。

詳細は次にご参考ください。もっと詳しい情報は付属DVDの¥manual¥表示設定方法及びCFGファイルをご参照ください。

Screen_output_type=xx スクリーン0出力種類 (0:none、1:lcd、2:tv、3:hdmi、4:vga)



Screen_output_mode=xx

スクリーン0出力モード (used for tv/hdmi output、 0:480i 1:576i 2:480p 3:576p 4:720p50 5:720p60 6:1080i50 7:1080i60 8:1080p24 9:1080p50 10:1080p60 11:pal 14:ntsc)

4.3.2 ボードの TF スロットに挿し込み、パワーを入れる。

修正されたdisplay_param.cfgファイルをTFカードのルートディレクトリにコピーしてから、ボードに TFカードを挿し込み、パワーを入れる。この時、ボードはdisplay_param.cfg設定ファイルによって出力種 類を選ぶ。同時に、今回の設定はnand flashに保存される。

4.4 設定情報

4.4.1 システム (system)

1. [Target]

備考:ブルーはモジュールチップのピン設定、ブラックはモジュール内部制御の設定である。

GPIO設定の形式:

PORT:ポート+グループ番号<	<機能の割り当て><内部抵抗のステータス><ドライバの能力><出力レベ
ルのステータス>	
設定アイティム	意味
boot_clock=xx	起動周波数、xx は〇〇 ^{MH} z.
dcdc2_vo1=1400	dcdc2の出力電圧、mV
dcdc3_vo1=1250	dcdc3の出力電圧、mV
1do2_vo1=3000	1do2の出力電圧、mV
1do3_vo1=2800	1do3の出力電圧、mV
ldo4_vo1=2800	Ido4の出力電圧、mV
設定の例;	
[target]	X
boot_clock = 912	
dcdc2_vo1 = 1400	
$dcdc3_vo1 = 1250$	
ldo2_vol = 3000	
ldo3_vol = 2800	
ldo4_vol = 2800	
2. [card_boot]	
設定アイティム	意味
Logical_start=xx	
Sprite_gpio0=	
設定の例:	
[card_boot]	



カードによる量産に関するコントローラ スピードモード 0:低速、1:高速

TFc コマンド信号の GPIO 設定

TFc カードクロック信号の GPIO 設定

TFc カードデータ0線信号の GPIO 設定 TFc カードデータ1線信号の GPIO 設定

TFc カードデータ3線信号の GPIO 設定

TFc カードデータ2線信号の GPIO 設定

logical_start = 40960 sprite_gpio0 =

3. [card0_boot_para]

設定アイティム card_ctrl=0 card_high_speed=xx Card_line=4 TFc_ cmd =xx TFc_ clk =xx TFc_ d0 =xx TFc_ d1 =xx TFc_ d3 =xx TFc_ d2 =xx

設定の例:

card_ctrl = 2 card_high_speed = 1 card_line = 4 sdc_d1 = port:PF0<2><1><default><default> sdc_d0 = port:PF1<2><1><default><default> sdc_clk = port:PF2<2><1><default><default> sdc_cmd = port:PF3<2><1><default><default> sdc_d3 = port:PF4<2><1><default><default> sdc_d2 = port:PF5<2><1><default><default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default>

4. [card2_boot_para]

設定アイティム card_ctrl=2 card_high_speed=xx card_line=4 TFc_ cmd =xx TFc_ clk =xx TFc_ d0 =xx TFc_ d0 =xx TFc_ d1 =xx TFc_d3=xx TFc_d2=xx

設定の例:

意味

意味

4線カード

カード起動コントローラ スピードモード;1:低速;2:高速 4線カード TFc コマンド信号の GPIO 設定 TFc カードクロック信号の GPIO 設定 TFc カードデータ0線信号の GPIO 設定 TFc カードデータ1線信号の GPIO 設定 TFc カードデータ3線信号の GPIO 設定 TFc カードデータ2線信号の GPIO 設定

card_ctrl= 2 card_high_speed= 1 card_line= 4 sdc_cmd= port:PC6<3><1> sdc_clk= port:PC7<3><1> sdc_d0= port:PC8<3><1>



sdc_d1= port:PC9<3><1>
sdc_d2= port:PC10<3><1>
sdc_d3= port:PC11<3><1>

5. [twi_para]

設定アイティム
twi_port= xx
twi_scl=xx
twi_TFa=xx

意味 Boot の twi コントローラの番号 Boot の twi のクロックの GPIO 設定 Boot の twi のデータの GPIO 設定

設定の例:

twi_port	= 0
twi_scl	= port:PBO<2> <default><default><default></default></default></default>
twi_TFa	= port:PB1<2> <default><default><default></default></default></default>

6. [uart_para]

設定アイティム uart_debug_port=xx uart_debug_tx=xx uart_debug_rx=xx

設定の例:

uart_debug_port uart_debug_tx uart_debug_rx

7. [jtag_para]

設定アイティム jtag_enable=xx jtag_ms=xx jtag_ck=xx jtag_do=xx jtag_di=xx

設定の例: [jtag_para] jtag_enable jtag_ms jtag_ck jtag_do

jtag_di

意味 Boot シリアルポートのコントローラの番号 Boot シリアルポート送信の GPIO 設定 Boot シリアルポート受信の GPIO 設定

= 0
= port:PB22<2><1><default><default>
= port:PB23<2><1><default><default><</pre>

意味 JTAG の enable テストモードセレクトの入力(TMS)の GPIO 設定 テストクロック入力(TMS)の GPIO 設定 テストデータ出力(TDO)の GPIO 設定 テストデータ入力(TDI)の GPIO 設定

= 1 = port:PB14<3><default><default><default>

- = port:PB15<3><default><default><default>
- = port:PB16<3><default><default><default>
- = port:PB17<3><default><default><default>



低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

4.4.2 TFRAM

1. [dram_para]	
設定アイティム	意味
dram baseaddr=xx	DRAM がアクセスする物理初期アドレス、
aram_babbaaar AA	0x40000000固定である
drom all -yy	DRAM のクロック周波数、単位は MHz、24
	の整数倍で120から480までに設定できる
dram_type =xx	DRAMの種類:2はDDR2、3はDDR3
duam want num -uu	DRAM のチップセクレト数:1:一つのチ
	ップセクレト、2:二つのチップセクレト
dram abin danaity -yy	一枚 DRAM の容量、単位は Mb、例えば2048、
dram_chip_density -xx	1024
dram io width=xx	一枚 DRAM のビット幅、一般的には16に設
	定する
	全ての DRAM のバス幅。例えば、二枚の <mark>1</mark> 6
dram_bus_width=xx	ビットの DRAM が32ビットのソリューション
	になったら、ここで32に設定する。
dram cas=xx	DRAM CAS 値。6、7、8、9が設定できる。
	DRAMの仕様書とスピードによって確定する。
dram_zq=xx	DRAMコントローラ内部パラメータ、出荷
-	時設定され、変更しないでくたさい。
dram adt an=rr	0D1 は enable か必要かとうか。 0、以重なし、1、以重、電力な節約する
uram_out_en-xx	・必安なし、I. 必安。 电力を即称りる ためレー般的にけ0に設定する
dram size=xx	全てのDRAMの総容量値 単位は MB
drum_0120 AA	DRAM コントローラ内部パラメータ、工場
dram_tpr0=xx	に調整され、変更しないでください。
	DRAM コントローラ内部パラメータ、工場
dram_tpr1=xx	に調整され、変更しないでください。
dram tpr?=vv	DRAM コントローラ内部パラメータ、工場
dram_tpr2=xx	に調整され、変更しないでください。
dram tpr3=xx	DRAM コントローラ内部パラメータ、工場
aram_obro un	に調整され、変更しないでください。
dram_tpr4=xx	DRAM コントローラ内部パラメータ、工場
	に調整され、変更しないでくたさい。
dram_emr1=xx	DRAM コントローフ内部ハフメータ、工場 に調敷され、亦再したいでください。
	に明定C46、友文しなV'CNにCV'。 DRAMコントローラ内部パラメーター工程
dram_emr2=xx	に調整され、変更したいでください
	DRAMコントローラ内部パラメータ、工場
dram_emr3=xx	に調整され、変更しないでください。





設定の例:

[dram_para] $dram_baseaddr = 0x40000000$ $dram_c1k = 360$ dram_type = 3 dram_rank_num = 0xfffffff dram_chip_density = 0xfffffff dram_io_width = 0xfffffff dram_bus_width = 0xfffffff $dram_cas = 9$ $dram_zq = 0x7b$ $dram_odt_en = 0$ dram_size = 0xfffffff $dram_tpr0 = 0x42d899b7$ $dram_tpr1 = 0xa090$ $dram_tpr2 = 0x22a00$ $dram_tpr3 = 0x0$ $dram_tpr4 = 0x1$ $dram_tpr5 = 0x0$ $dram_emr1 = 0x4$ dram emr2 = 0x10 $dram_{emr3} = 0x0$

4.4.3 GPU(mali)

1.[mali_para] 設定アイティム mali_usde=xx

mali_clkdiv=xx

意味 MALI モジュール enbale 960MHz/mali_clkdiv は GPU の入力 CLOCK とする

4.4.4 2D 加速 (G2D)

1. [g2d_para]

設定アイティム g2d_usde=xx g2d_size=xx 意味 g2d モジュールは使用かどうか g2d メモリサイズ、デフォルトは0x1000000

4.4.5 ネットワーク (Ethernet MAC)

1. [emac_para]	
設定アイティム	

意味



emac モジュール enbale フラグ

低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

emac_used=xx emac_rxd3 =xx emac_rxd2 =xx $emac_rxd1 = xx$ $emac_rxd0 = xx$ emac_txd3 =xx emac_txd2 =xx $emac_txd1 = xx$ $emac_txd0 = xx$ emac_rxclk =xx emac_rxerr =xx emac_rxdV =xx emac_mdc =xx emac_mdio =xx emac_txen=xx emac_txclk=xx $emac_crs = xx$ emac_col=xx emac_reset =xx dram_emr3=xx

設定の例;

[emac_para]	
emac_used	= 0
emac_rxd3	= port:PA00<2> <default><default><default></default></default></default>
emac_rxd2	= port:PA01<2> <default><default><default></default></default></default>
emac_rxd1	= port:PA02<2> <default><default><default></default></default></default>
emac_rxd0	= port:PA03<2> <default><default><default></default></default></default>
$emac_txd3$	= port:PA04<2> <default><default><default></default></default></default>
$emac_txd2$	= port:PA05<2> <default><default><default></default></default></default>
$emac_txd1$	<pre>port:PA06<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
emac_txd0	= port:PA07<2> <default><default><default></default></default></default>
emac_rxclk	<pre>port:PA08<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
emac_rxerr	= port:PA09<2> <default><default><default></default></default></default>
emac_rxdV	<pre>= port:PA10<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
emac_mdc	= port:PA11<2> <default><default><default></default></default></default>
emac_mdio	= port:PA12<2> <default><default><default></default></default></default>
emac_txen	= port:PA13<2> <default><default><default></default></default></default>
emac_txclk	= port:PA14<2> <default><default><default></default></default></default>
emac_crs	= port:PA15<2> <default><default><default></default></default></default>
$emac_col = pc$	ort:PA16<2> <default><default><default></default></default></default>
emac_reset = j	port:PA17<1> <default><default><default></default></default></default>

emac 受信データバスの GPIO 設定 / / emac 送信データバスの GPIO 設定 / / emac 受信クロックの GPIO 設定 emac 受信エラーの GPIO 設定

emac 受信 enbale の GPIO 設定 emac mii クロックの GPIO 設定 Emac mii データの GPIO 設定 emac 送信 enbale の GPIO 設定 emac 送信クロックの GPIO 設定 emac キャリア状態の GPIO 設定 emac コンフリクト検出の GPIO 設定 emac phy reset 信号の GPIO 設定 //



4.4.6 I2C バス

1、 [twi0_para]	
設定アイティム	意味
twi0_used=xx	TWI 使用コントロール:1:使用、0:未使用
twi0_scl=xx	TWI SCK の GPIO 設定
twi0_sda=xx	TWI SDAの GPIO 設定
設定の例:	
twi0_used =1	
twi0_scl = port:	PBO<2> <default><default></default></default>
twi0_sda = port:PB	1<2> <default><default><default></default></default></default>
2、[twi1para]	
設定アイティム	意味
4 · 1 · 1-	TWI 使用コントロール:1. 使用;0:未使
tw11_used=xx	用
twi1_scl=xx	TWI SCKのGPIO設定
twi1_sda=xx	TWI SDAのGPIO設定
設定の例:	
[tw1 para]	
$twi1_used = 1$	
twi1_scl = port:PB18<2><	default> <default></default>
twi1_sda = port:PB19<2><	default> <default></default>
3. [twi2 para]	
設定アイティム	意味
	TWI 使用コントロール: 1. 使用;0:未使
Twi2_used=xx	用
Twi2_scl=xx	TWI SCKのGPIO設定
Twi2_sda=xx	TWI SDAの GPIO 設定
設定の例:	
[tw2 para]	
twi2 used = 1	
twi2 sc1 = port:PB20<2><	default> <default></default>
twi2_sda = port:PB21<2><	default> <default></default>
4.4.7 シリアルポー	ート (UART)

1, [uart_para0]

設定アイティム	
uart_used=xx	

意味 URAT 使用コントロール:1. 使用;0:未





UART の種類:2 (2 wire), 4 (4 wire), 8

低価格、高品質が不可能 日昇テクノロジーなら可能にする

```
uart_port =xx
uart_type = xx
uart0_tx =xx
uart0_rx=xx
```

設定の例:

[uart_para0] $uart_used = 1$ $uart_port = 0$ uart_type = 2 uart_tx = port:PB22<2><1><default><default> uart rx = port:PB23<2><1><default><default>

使用

(8 wire)

URAT ポート番号

UART TX の GPIO 設定

UART RX の GPIO 設定

2, [uart_para 1]

設定アイティム uart_used=xx 使用 uart_port =xx uart_type = xx Uart1 tx =xx Uart1_rx=xx Uart1_rts=xx Uart1 cts=xx Uart1_dtr=xx Uart1 dsr=xx Uart1_dcd=xx Uart1_ring=xx 設定の例: [uart_para1]

意味 URAT 使用コントロール: 1. 使用; 0:7 URAT ポート番号 UART の種類:2 (2 wire), 4 (4 wire), 8 (8 wire UART TX Ø GPIO 設定 UART RX の GPIO 設定 UART RTS の GPIO 設定 UART CTS の GPIO 設定 UART DTR の GPIO 設定 UART DSR の GPIO 設定 UART DCD の GPIO 設定 UART RING の GPIO 設定

uart_used = uart_port = 1 $uart_type = 8$ uart_tx = port:PA10<4><1><default><default> uart_rx = port:PA11<4><1><default><default><</pre> uart_rts = port:PA12<4><1><default><default> uart_cts = port:PA13<4><1><default><default> uart_dtr = port:PA14<4><1><default><default> uart dsr = port:PA15<4><1><default><default> uart_dcd = port:PA16<4><1><default><default> uart_ring = port:PA17<4><1><default><default>



低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

3, [uart_para 2]

設定アイティム uart_used=xx uart_port =xx uart_type = xx Uart2_tx =xx Uart2_rx=xx Uart2_rts=xx Uart2_cts=xx 意味 URAT 使用コントロール: 1. 使用; 0:未 使用 URAT ポート番号 UART の種類: 2 (2 wire), 4 (4 wire), 8 (8 wire UART TX の GPIO 設定 UART RX の GPIO 設定 UART RTS の GPIO 設定 UART CTS の GPIO 設定

設定の例;

[uart_para2] uart_port = 2 uart_type = 4 uart_tx = port:PI18<3><1><default><default> uart_rx = port:PI19<3><1><default><default> uart_rts = port:PI16<3><1><default><default> uart_cts = port:PI17<3><1><default><default></default></default></default>

4, [uart_para3]

設定アイティム uart_used=xx uart_port =xx uart_type = xx Uart3_tx =xx Uart3_rx=xx Uart3_rts=xx Uart3_cts=xx 意味 URAT 使用コントロール: 1. 使用;0:未 使用 URAT ポート番号 UART の種類:2 (2 wire),4 (4 wire),8 (8 wire UART TX の GPIO 設定 UART RX の GPIO 設定 UART RTS の GPIO 設定

UART CTS の GPIO 設定

設定の例

[uart_para3] uart_used = 0 uart_port = 3 uart_type = 4 uart_tx = port:PH00<4><1><default><default> uart_rx = port:PH01<4><1><default><default> uart_rts = port:PH02<4><1><default><default> uart_cts = port:PH03<4><1><default><default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default

5, [uart_para4]

設定アイティム

意味





低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

URAT 使用コントロール: 1. 使用; 0:未 uart_used=xx 使用 URAT ポート番号 uart_port =xx UART の種類:2 (2 wire), 4 (4 wire), 8 uart_type = xx (8 wire UART TXの GPIO 設定 Uart4_tx =xx Uart4 rx=xx UART RX の GPIO 設定 設定の例 [uart_para4] $uart_used = 0$ uart_port = 4 uart_type = 2 uart_tx = port:PH04<4><1><default><default> uart_rx = port:PH05<4><1><default><default> 6, [uart_para5] 設定アイティム 意味 URAT 使用コントロール: 1. 使用; 0:7 uart_used=xx 使用 URAT ポート番号 uart_port =xx UART の種類:2 (2 wire), 4 (4 wire), 8 uart_type = xx (8 wire UART TX Ø GPIO 設定 Uart5 tx =xx UART RX の GPIO 設定 Uart5_rx=xx 設定の例 [uart_para5] uart used = 1uart_port = 5 $uart_type = 2$ uart_tx = port PI10<3><1><default><default> uart_rx = port:PI11<3><1></br> 7, [uart_para6] 設定アイティム 意味 URAT 使用コントロール: 1. 使用; 0:未 uart_used=xx 使用 URAT ポート番号 uart_port =xx UART の種類:2(2 wire),4(4 wire),8 uart_type = xx (8 wire) Uart6_tx =xx UART TXの GPIO 設定 Uart6 rx=xx UART RX の GPIO 設定 設定の例: [uart_para6]





URAT 使用制御: 1. 使用; 0: 不使用

UART TXの種類:2 (2 wire), 4 (4 wire),

uart_used = 1 uart_port = 6 uart_type = 2 uart_tx = port:PI12<3><1><default><default> uart_rx = port:PI13<3><1><default><default>

意味

8 (8 wire

意味

URAT ポート番号

UART TXの GPIO 設定

UART RX の GPIO 設定

8、 [uart_para7]

```
設定アイティム
uart_used=xx
uart_port =xx
uart_type = xx
```

Uart7_tx =xx Uart7_rx=xx

設定の例

```
[uart_para7]
uart_used = 0
uart_port = 7
uart_type = 2
uart_tx = port:PA14<4><1><default><default>
uart_rx = port:PA15<4><1><default><default>
```

4.4.8 SPI バス

```
1、 [spio_para]
```

設定アイティム

spi_used=xx

spi_cs0=xx
spi_cs1=xx
spi_sclk=xx
spi_mosi=xx
spi_miso=xx

SPI 使用コントロール:1. 使用;0:未使

SPI CSOの GPIO 設定 SPI CS1の GPIO 設定 SPI CLK の GPIO 設定 SPI MOSI の GPIO 設定 SPI MISO の GPIO 設定

```
設定の例:
[spi0_para]
spi_used = 0
spi_cs_bitmap = 1
spi_cs0 = port:PI10<2><default><default><default>
spi_cs1 = port:PI14<2><default><default><default>
spi_sclk = port:PI11<2><default><default><default>
spi_mosi = port:PI12<2><default><default><default>
spi_miso = port:PI13<2><default><default><default><
```





2, [spi 1_para] 設定アイティム

WL / 1 / 1 A	
spi_used=xx	
spi_cs0=xx	
spi_cs1=xx	
spi_sclk=xx	
spi_mosi=xx	
spi_miso=xx	

意味 SPI 使用コントロール:1. 使用;0:未使 用 SPI CSOの GPIO 設定 SPI CS1の GPIO 設定 SPI CLK の GPIO 設定 SPI MOSIの GPIO 設定 SPI MISOのGPIO 設定

設定の例;

[spi1_para]
$spi_used = 0$
spi_cs_bitmap = 1
<pre>spi_cs0 = port:PA00<3><default><default><default><</default></default></default></pre>
<pre>spi_cs1 = port:PA04<3><default><default><default><</default></default></default></pre>
<pre>spi_sclk = port:PA01<3><default><default><default><</default></default></default></pre>
<pre>spi_mosi = port:PA02<3><default><default><default><</default></default></default></pre>
<pre>spi_miso = port:PA03<3><default><default><default><</default></default></default></pre>

3. *[spi2_para]*

設定アイティム	意味
spi_used=xx	SPI 使用コントロール:1. 使用;0:未使 用
spi_cs0=xx	SPI CSOの GPIO 設定
spi_cs1=xx	SPI CS1の GPI0 設定
spi_sclk=xx	SPI CLKのGPIO 設定
spi_mosi=xx	SPI MOSIのGPIO設定
spi_miso=xx	SPI MISOのGPIO設定
定の例:	

設)

spi_used = 0
spi_cs_bitmap = 1
spi_cs0 = port:PB14<2> <default><default><default></default></default></default>
<pre>spi_sclk = port:PB15<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
<pre>spi_mosi = port:PB16<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
<pre>spi_miso = port:PB17<2><default><default><default><</default></default></default></pre>

4 [spi3_para]

設定アイティム	意味
spi usod=vv	SPI 使用コントロール: 1. 使用;0:未使
spi_useu-xx	用
spi_cs0=xx	SPI CSOの GPIO 設定
spi_cs1=xx	SPI CS1の GPIO 設定



低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

spi_	_sclk=xx
spi_	_mosi=xx
spi	miso=xx

SPI CLKのGPIO設定 SPI MOSIのGPIO設定 SPI MISOのGPIO設定

設定の例:

[spi3_para] spi_used = 0 spi_cs_bitmap = 1 spi_cs0 = port:PA05<3><default><default><default> spi_cs1 = port:PA09<3><default><default><default> spi_sclk = port:PA06<3><default><default><default> spi_mosi = port:PA07<3><default><default><default> spi_miso = port:PA08<3><default><default><default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></defa

5 [spi_devices]

設定アイティム

spi_dev_num=xx

6. [spi_board0]

設定アイティム modalias=xx max_speed_hz=xx bus_num=xx

chip_select=xx

mode=xx full_deplex=xx manual_cs=xx 意味 次の「spi_board0」に関係がある。マザ-ボードと spi デバイスに接続する数を指定 する。もし N つの spi デバイスがあれば、 「spi_devices]には N つの設定 (「spi_board0」から「spi_boardN」まで) がある。

意味
 spi モジュールの名前
 最大伝送スピード
 spi デバイスコントローラの番号
 理論的には0.1.2.3が選択でき、現在は1.2
 のみ選択できる(チップがインタフェースを
 引き出さない)
 SPI MOSI の GPIO 設定
 動作モード(1: Duplex、0: Half-duplex)
 C S レベルを制御する。現在はこの機能を
 サポートしない。

4.4.9 抵抗スクリーン (rtp)

1. [rtp_para]

設定アイティム rtp_used=xx

rtp_screen_size=xx

意味 使用かどうか スクリーンのサイズ、単位はインチ。 対角線の方向の長さを基準にする



低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

	表面スクリーンの硬さ。指で押し、上
	げってからカウントする。ハードウエア
	がデータを採集できないまでの時間(単
rtp_regidity_level=xx	位は10ms)をカウンタする。一般的には、
	5インチのスクリーンは5、7インチのスク
	リーンは7に設定する。
	圧力限界のパルプを開くかどうか。0:
rtp_press_threshold_enbale=xx	開かないを推奨する
	rtp_press_threshold_enbale は1にな
	ると、このアイティムが有効になる。0か
rtp_press_threshold=xx	ら0xFFFFFF までの任意数値が取られる。
	数値は小さい方が敏感する。0xFを推奨す
	る。
	敏感レベル。0から0xF までの任意数値。
rtp_sensitive_level=xx	数値が大きい方が敏感する。0xFを推奨す
	る。
	スクリーンの x/y 軸を変換する場合に、
rtp_exchange_x_y_flag=xx	1に設定する。一般的には0に設定する。

4.4.10 静電スクリーン(capacitor tp)

1. <i>[ctp_para]</i>	
設定アイティム	意味
ctp_used=xx	静電タッチスクリーンを起動かどうか。 1 : 起動;0:起動しない。
ctp_name =xx	タッチプラン。現在は「ft5x_ts」 又は 「Goodix‐TS」選択できる
ctp_twi_id=xx	i2c adapter を選択する。現在は0、2が選 択できる
tp_twi_addr =xx	i2c デバイスのアドレスを指定する。ハー ドウエアに関する。
ctp_screen_max_x=xx	タッチボード x 軸の最大値
ctp_screen_max_y=xx	タッチボードy軸の最大値
ctp_revert_x_flag=xx	x軸をフリップするかどうか。1:フリッ プ、0:フリップしなし
ctp_revert_y_flag=xx	y軸をフリップするかどうか。1:フリッ プ、0:フリップなし
cpt_int_port=xx	静電スクリーンの割り込み信号の GPIO 設定
cpt_wakeup-xx	静電スクリーンウエイクアップ信号の GPIO 設定
cpt_io_port=xx	静電スクリーンの io 信号、今は割り込み 信号とピンを共用する。



設定の例: ctp_used = 1 ctp_name = "gsl1680" ctp_twi_id = 2 ctp_twi_addr = 0x40 ctp_screen_max_x = 1024 ctp_screen_max_y = 600 ctp_revert_x_flag = 0 ctp_revert_y_flag = 0 ctp_revert_y_flag = 1 ctp_int_port = port:PH21<6><default><default><default> <default><1>

注意事項:新静電タッチicをサポートするために、A10 bspの設定状況によって元のタッチicコードを 修正しなければならない。

sys_configに、cyp_twi_idはハードウエアと同じように接続する。 ドライバのコードに、TWIのデバイス名+アドレスはsys_configのcyp_name、ctp_twi_addrと同じであ る。同時に、sys_configにあるほかのキーワードも設定必要。

```
4.4.11 タッチキー(touch key)
```

1. [tkey_para] 設定アイティム 意味 1:タッチスクリーンをサポートする。0: tkey_used =xx サポートしない タッチプラン。現在は hv_keypad のみ選択 tkey_name =xx できる i2c adapter を選択する。現在は0.2が選 tkey_twi_id =xx 択できる i2c デバイスのアドレスを表明する。ハー tkey_twi_addr=xx ドウエアに関する。 tkey_int=xx タッチキー割り込み信号の gpio 設定

設定の例:

tkey_used = 0
tkey_name = "hv_keypad"
tkey_twi_id = 2
tkey_twi_addr = 0x62
tkey_int = port:PI13<6><default><default><default>

注意事項:

サポートすれば、tkey_usedを1に設定すると同時に、対応するキーも設定する。でなければ、0に設定する。



4.4.12 モーター (motor)

1, [tmotor_para]

設定アイティム

 $motor_used = xx$

motor_shake =xx

意味
 モーターを起動するかどうか、1:起動;
 0:起動しない
 モーターのgpio設定

設定の例: motor_used = 0 motor_shake = port:PB03<1><default><default><1>

注意事項:

motor_shake = port:PB03<1><default><default><0> ioインタフェースの出力はデフォルトOにする。そうすれば、初期化してから振動しない。

4.4.13 フラッシュ (nand flash)

1. [nand_para]

設定アイティム 意味 nand モジュール enable フラグ nand_used=xx nand クロック信号を書く gpio 設定 nand_we=xx nand アドレス enble 信号の gpio 設定 nand_ale=xx nand ファンド enbale 信号の gpio 設定 nand_cle=xx nand チップセレクト1信号の gpio 設定 nand_ce1=xx nand チップセレクト0信号の gpio 設定 nand_ce0=xx nand <mark>ク</mark>ロック信号を読む gpio 設定 nand_nre=xx nand read/busy 0信号の gpio 設定 nand_rb0=xx nand read/busy 1信号の gpio 設定 nand_rb1=xx nand データバス信号の gpio 設定 nand_d0=xx nand_d1=xx nand_d2=xx nand_d3=xx nand_d4=xx nand_d5=xx nand_d6=xx nand_d7=xx nand 保護信号を書く gpio 設定 nand_wp=xx nand_ce2=xx nand チップセレクト2信号の gpio 設定 nand チップセレクト3信号の gpio 設定 nand_ce3=xx nand チップセレクト4信号の gpio 設定 nand_ce4=xx nand_ce5=xx nand チップセレクト5信号の gpio 設定 nand チップセレクト6信号の gpio 設定 nand_ce6=xx nand ce7=xx nand チップセレクト7信号の gpio 設定

//



低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

nand_spi=xx
nand_ndqs=xx

nand ddr クロック信号の gpio 設定

設定の例: [nand_para] nand used = 1nand_we = port:PC00<2><default><default><default> nand_ale = port:PC01<2><default><default><default><</pre> nand_cle = port:PC02<2><default><default><default><</pre> nand_ce1 = port:PC03<2><default><default><default><</pre> nand ce0 = port:PC04<2><default><default><default> nand_nre = port:PC05<2><default><default><default><</pre> nand_rb0 = port:PC06<2><default><default><default><</pre> nand_rb1 = port:PC07<2><default><default><default><</pre> nand d0 = port:PC08<2><default><default><default> nand d1 = port:PC09<2><default><default><default> nand_d2 = port:PC10<2><default><default><default><</pre> nand_d3 = port:PC11<2><default><default><default><</pre> nand_d4 = port:PC12<2><default><default><default> nand d5 = port:PC13<2><default><default><default> nand_d6 = port:PC14<2><default><default><default><</pre> nand_d7 = port:PC15<2><default><default><default> nand_wp = port:PC16<2><default><default> nand_ce2 = port:PC17<2><default><default><default> nand_ce3 = port:PC18<2><default><default><default><</pre> $nand_ce4 =$ nand ce5 =nand_ce6 = $nand_ce7 =$ nand_spi = port;PC23<3><default><default><default> nand_ndqs = port:PC24<2><default><default><default>

4.4.14 表示を初期化 (disp init)

1,[disp_init]

設定アイティム 意味 disp_init_enable=xx 表示を初期化するかどうか 表示モード: disp_mode=xxsys_conflig.fex 1:screen0<screen0,fb0> 1:screen1<screen1,fb0> 2:two_diff_screen_diff_contents <screen0、screen1、fb0、fb1>; 3:two_same_screen_diff_contets



<screen0, screen1, fb0> 4:two_diff_screen_same_contents<screen0, screen1, fb0>

<pre>screen0_output_type=xx</pre>	スクリーン0出力種類:(O:none、1:lcd、 2:tv、 3:hdmi、4:vga)
<pre>screen0_output_mode =xx</pre>	スクリーン0出力モード: (used for tv/hdmi output、 0:480i 1:576i 2:480p 3:576p 4:720p50 5:720p60 6:1080i50 7:1080i60 8:1080p24 9:1080p50 10:1080p60 11:pal 14:ntsc)
<pre>screen1_output_type=xx</pre>	スクリーン1出力種類:(0:none、1:led、 2:tv、 3:hdmi、 4:vga)
screen1_output_mode =xx	スクリーン1出力モード: (used for tv/hdmi output、 0:480i 1:576i 2:480p 3:576p 4:720p50 5:720p60 6:1080i50 7:1080i60 8:1080p24 9:1080p50 10:1080p60 11:pal 14:ntsc)
fb0_framebuffer_num=xx	fb0の buffer number (ドライバは fb0にいくつかの buffer を割り当てる。例えば、ダブル buffer を使う時、 2を書く。)
fb0_format=xx	16000 7 (4. RGB055 5. RGB555 6. RGB556 7:ARGB1555 8: RGBA5551 9: RGB888 10: ARGB8888 12: ARGB4444)
fb0_pixel_sequence=xx	fb0 のpixel sequence(0:ARGB 1:BGRA 2:ABGR 3:RGBA)
fb0_scaler_mode_enable=xx	fb0は scaler mode を使用かどうか、FE に設定する
fb1_framebuffer_num=xx	fb1の buffer number (ドライバは fb1にいくつかの buffer を割り当てる。例えば、ダブル buffer を使う時、 2を書く。)
fb1_format=xx	fb1のフォーマット(4:RGB655 5:RGB565 6:RGB556 7:ARGB1555 8:RGBA5551 9:RGB888 10:ARGB8888 12:ARGB4444)
fb1_pixel_sequence=xx	fb1 の pixel sequence(0:ARGB 1:BGRA 2:ABGR 3:RGBA)
fb1_scaler_mode_enable=xx	fb1は scaler mode を使用かどうか
設定の例; [disp_init] disp_init_enable = 1	





screen0_output_mode = 5
screen1_output_type = 1
screen1_output_mode = 4
fb0_framebuffer_num = 2
fb0_format = 10
fb0_pixel_sequence = 0
fb1_scaler_mode_enable = 1
fb1_framebuffer_num = 2
fb1_format = 10
fb1_pixel_sequence = 0
fb1_scaler_mode_enable = 0

4.4.15 LCD スクリーン 0

1[lcd0_para] 設定アイティム 意味 1cd used=xx lcd_x=xx lcd_y=xx lcd_dclk_freq=xx lcd_pwm_not_used=xx lcd_pwm_ch=xx lcd_pwm_freq=xx lcd_pwm_po1 =xx lcd_if =xx lcd_hbp=xx lcd_ht=xx lcd_vbp=xx lcd_vt=xx lcd_hv_if =xx serial) lcd_hv_smode=xx lcd_hv_s888_if=xx lcd_hv_syuv_if=xx lcd_hv_vspw=xx lcd_hv_hspw=xx lcd_lvds_ch=xx lcd_lvds_mode=xx lcd_lvds_bitwidth=xx lcd_lvds_io_cross=xx

ホームページ:<u>http://www.csun.co.jp</u> メール:info@csun.co.jp

1cd0 interface を使用かどうか。 以下の 設定は使用するときに、有効となる lcd active width lcd active height pixel clock, in MHZ unit PWM を使うかどうか。0:使用、1:未使 用 (PWM io を直接に高める/低める) PWM 通路。0:PWM0、1:PWM1。一般的には LCD0 は PWMOを使う、LCD1 は PWM1を使う。 pwm freq, in HZ unit pwm polarity lcd interface(0:hv(sync+de); 1:8080; 2:tt1; 3:1vds) hsync back porch hsync total cycle vsync back porch vysnc total cycle *2 hv interface(0:hv parallel 1:hv serial i/f mode(0:RGB888 1:CCIR656) serial RGB forma serial YUV format vysnc plus width hsync plus width 0:single channel; 1:dual channel 0:NS mode; 1:JEIDA mode 0:24bit; 1:18bit 0:normal; 1:pn cross


低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

lcd_cpu_if=xx	<pre>cpu i/f mode(0:18bit; 1:16bit mode0; 2:16bit mode1; 3:16bit mode2; 4:16bit mode3; 5:9bit; 6:8bit 256K; 7:8bit 65K)</pre>
lcd_frm=xx	0:disable; 1:enable rgb666 dither; 2:enable rgb656 dither
lcd_io_cfg0=xx	lcd io inv
lcd_gamma_correction_en=xx	gamma 補正を行うかどうか。行われば、後 ろの256つの gamama パラメータを書く必要
lcd_gamma_tbl_0=xx	gamama パラメータ第0項目、 (red<<16) (gree<<8) blue.
lcd_gamma_tbl_1=xx	gamama パラメータ第1項目、 (red<<16) (gree<<8) blue.
lcd_gamma_tb1_255=xx	gamama パラメータ第255項目、 (red<<16) (gree<<8) blue.
lcd_bl_en_used=xx	LCD_BL_EN ピンを使用かどうか
lcd_bl_en=xx	LCD_BL_ENのgpio設定
lcd_power_used=xx	LCD_VCC_control のピンを使用かどうか
lcd_power=xx	LCD_VCC_controlのgpio設定
lcd_pwm_used=xx	lcd pwm のピンを使用かどうか(使用)
lcd_pwm=xx	1cd pwmのgpio設定(PWM0は固定でPB02 を利用し、PWM1はPI03を固定で利用する)
lcd_gpio_0=xx	2/3 - wire I/F の SCL の GPIO 設定
lcd_gpio_1=xx	2/3‐wire I/F の TFA の GPIO 設定
lcd_gpio_2=xx	2/3‐wire I/F の SCEN の GPIO 設定
lcd_gpio_3=xx	Icd モジュールの reset の GPIO 設定
1cdd0=xx	led データの GPIO 設定
lcd1=xx	lcd データの GPIO 設定
1cdd2=xx	Icd データの GPIO 設定
1cdd3=xx	hcd データの GPIO 設定
1cdd4=xx	lcd データの GPIO 設定
1cdd5=xx	lcd データの GPIO 設定
1cdd6=xx	1cd データの GPIO 設定
lcdd7=xx	1cd データの GPIO 設定
1cdd8=xx	1cd データの GPIO 設定
lcdd9=xx	1cd データの GPIO 設定
lcdd10=xx	1cd データの GPIO 設定
lcdd11=xx	1cd データの GPIO 設定
lcdd12=xx	lcd データの GPIO 設定
lcdd13=xx	1cd データの GPIO 設定
lcdd14=xx	1cd データの GPIO 設定
lcdd15=xx	lcd データの GPIO 設定
lcdd16=xx	1cd データの GPIO 設定
lcdd17=xx	1cd データの GPIO 設定
1cdd18=xx	1cd データの GPIO 設定



低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

lcdd19=xx	lcd データの GPIO 設定		
lcdd20=xx	lcd データの GPIO 設定		
lcdd21=xx	lcd データの GPIO 設定		
lcdd22=xx	lcd データの GPI0 設定		
lcdd23=xx	lcd データの GPIO 設定		
lcdclk=xx	lcd データの GPIO 設定 際の回路と関係する)	(具体な信号は実	
lcdde=xx	1cd データの GPIO 設定 際の回路と関係する)	(具体な信号は実	
lcdhsync=xx	lcd データの GPIO 設定 際の回路と関係する)	(具体な信号は実	
lcdvsync=xx	1cd データの GPIO 設定 際の回路と関係する)	(具体な信号は実	
設定の例:			
[lcd0_para]			
Lcd_used=0			
$1 cd_x = 800$			
$lcd_y = 480$			
lcd_dclk_freq = 33			
$lcd_pwm_freq = 1000$		•	
$lcd_pwm_pol = 0$			
$lcd_srgb = 0x00202020$			
$lcd_swap = 0$			
$lcd_if = 0$			
lcd_hbp = 215			
lcd_ht = 1055			
lcd_vbp = 34			
lcd_vt = 1050			
lcd_hv_if = 0	\mathbf{A}		
lcd_hv_smode = 0	•		
lcd_hv_s888_if = 0			
lcd_hv_syuv_if = 0			
lcd_hv_vspw = 0			
lcd_hv_hspw = 0			
lcd_hv_lde_used = 0			
$lcd_hv_lde_iovalue = 0$			
$lcd_ttl_stvh = 0$			
$lcd_ttl_stvdl = 0$			
$lcd_ttl_stvdp = 0$			
$lcd_ttl_ckvt = 0$			
$lcd_ttl_ckvh = 0$			
$lcd_ttl_ckvd = 0$			
$lcd_ttl_oevt = 0$			
$lcd_ttl_oevh = 0$			



 $lcd_ttl_oevd = 0$ lcd ttl sthh = 0 $lcd_ttl_sthd = 0$ $lcd_ttl_oehh = 0$ $lcd_ttl_oehd = 0$ $lcd_ttl_revd = 0$ $lcd_ttl_datarate = 0$ $lcd_ttl_revsel = 0$ $lcd_ttl_datainv_en = 0$ $lcd_ttl_datainv_sel = 0$ $lcd_lvds_ch = 0$ $lcd_lvds_mode = 0$ $lcd_lvds_bitwidth = 0$ $lcd_lvds_io_cross = 0$ $lcd_cpu_if = 0$ $1 cd_cpu_da = 0$ 1cd frm = 0 $lcd_io_cfg0 = 0x10000000$ $lcd_io_cfg1 = 0$ lcd_io_strength =0 $lcd_bl_en_used = 1$ lcd_bl_en = port:PH07<1><0><default><1> $lcd_power_used = 1$ lcd_power = port:PH08<1><0><default><1</pre> $lcd_pwm_used = 1$ lcd_pwm = port:PB02<2><default><default><default><</pre> $lcd_gpio_0 =$ $lcd_gpio_1 =$ $lcd_gpio_2 =$ $lcd_gpio_3 =$ lcdd0 = port:PD00<2><default><default><default><</pre> lcdd1 = port PD01<2><default><default><default><</pre> lcdd2 = port:PD02<2><default><default><default><</pre> lcdd3 = port:PD03<2 <default><default><default><</pre> lcdd4 = port:PD04<2><default><default><default><</pre> lcdd5 = port:PD05<2><default><default><default> lcdd6 = port:PD06<2><default><default><default><</pre> lcdd7 = port:PD07<2><default><default><default><</pre> lcdd8 = port:PD08<2><default><default><default><</pre> lcdd9 = port:PD09<2><default><default><default><</pre> lcdd10 = port:PD10<2><default><default><default><</pre> lcdd11 = port:PD11<2><default><default><default><</pre> lcdd12 = port:PD12<2><default><default><default><</pre> lcdd13 = port:PD13<2><default><default><default> lcdd14 = port:PD14<2><default><default><default>



lcdd15 = port:PD15<2><default><default><default> lcdd16 = port:PD16<2><default><default><default> lcdd17 = port:PD17<2><default><default><default> lcdd18 = port:PD18<2><default><default><default> lcdd19 = port:PD19<2><default><default><default> lcdd20 = port:PD20<2><default><default><default> lcdd21 = port:PD21<2><default><default><default> lcdd22 = port:PD23<2><default><default><default> lcdd23 = port:PD23<2><default><default><default> lcdclk = port:PD24<2><default><default><default> lcddefault><default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default><

4.4.16 LCD スクリーン1

1[lcd1_para]

設定アイティム

lcd_used=xx

lcd_x=xx lcd_y=xx lcd_dclk_freq=xx

lcd_pwm_not-used=xx

lcd_pwm_ch=xx

lcd_pwm_freq=xx lcd_pwm_pol =xx lcd_if =xx lcd_hbp=xx lcd_ht=xx lcd_vbp=xx lcd_vt=xx lcd_vt=xx lcd_hv_if =xx lcd_hv_smode=xx lcd_hv_s888_if=xx lcd_hv_syuv_if=xx lcd_hv_vspw=xx lcd_hv_hspw=xx lcd_hv_hspw=xx

意味 以下は 1cd0 interface を使用かどうか 使用するときに、有効となる lcd active width lcd active height pixel clock, in MHZ unit PWM を使うかどうか。0:使用、1:未使 用 (PWM io を直接に高める/低める) ♥₩M 通路。0:PWMO、1:PWM1。一般的には LCD0 はPWMOを利用し、LCD1 は PWM1を利用 てる。 pwm freq, in HZ unit pwm polarity lcd interface(0:hv(sync+de), 1:8080, 2:ttl, 3:lvds) hsync back porch hsync total cycle vsync back porch vysnc total cycle *2 hv interface(0:hv parallel 1:hv serial) serial i/f mode(0:RGB888 1:CCIR656) serial RGB forma serial YUV format vysnc plus width hsync plus width 0:single channel; 1:dual channel



低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

lcd_lvds_mode=xx	0:NS mode, 1:JEIDA mode
lcd_lvds_bitwidth=xx	0:24bit、1:18bit
lcd_lvds_io_cross=xx	0:normal、1:pn cross
lcd_cpu_if=xx	cpu i/f mode(0:18bit, 1:16bit mode0, 2:16bit mode1, 3:16bit mode2, 4:16bit mode3, 5:9bit, 6:8bit 256K, 7:8bit 65K)
lcd_frm=xx	0:disable; 1:enable rgb666 dither; 2:enable rgb656 dither
lcd_io_cfg0=xx	lcd io inv gamma 補正を行うかどうか、行われげ、後
lcd_gamma_correction_en=xx	gamma (前正を行う) かとうか。 13424 004、後 ろの256つの gamama パラメータを書く必要 がある
lcd_gamma_tbl_0=xx	gamama パラメータ第0項目、 (red<<16) (gree<<8) blue.
lcd_gamma_tbl_1=xx	gamama パラメータ第1項目、 (red<<16) (gree<<8) blue.
lcd_gamma_tb1_255=xx	gamama パラメータ第255項目、 (red<<16) (gree<<8) blue.
lcd_bl_en_used=xx	1cd_b1_en ピンを使用かどうか
lcd_bl_en=xx	LCD_BL_ENのgpio設定
lcd_power_used=xx	LCD_VCC_control のピンを使用かどうか
lcd_power=xx	LCD_VCC_controlのgpio設定
lcd_pwm_used=xx	lcd pwm のピンを使用かどうか(使用)
lcd_pwm=xx	led pwm の gpio 設定(PWMOが PBO2, PWM1 が PIO3を使用する)
lcd_gpio_0=xx	2/3 - wire I/F における SCL の GPIO 設定
lcd_gpio_1=xx	2/3 - wire I/F における TFA の GPIO 設定
lcd_gpio_2=xx	2/3 - wire I/F における SCEN の GPIO 設 定
lcd_gpio_3=xx	lcd モジュールの reset の GPIO 設定
1cdd0=xx	1cd データの GPI0 設定
lcd1=xx	1cd データの GPI0 設定
1cdd2=xx	1cd データの GPIO 設定
1cdd3=xx	1cd データの GPIO 設定
lcdd4=xx	1cd データの GPIO 設定
1cdd5=xx	lcd データの GPIO 設定
1cdd6=xx	lcd データの GPIO 設定
lcdd7=xx	lcd データの GPI0 設定
1cdd8=xx	1cd データの GPIO 設定
1cdd9=xx	1cd データの GPIO 設定
lcdd10=xx	lcd データの GPIO 設定
lcdd11=xx	lcd データの GPIO 設定
lcdd12=xx	1cd データの GPI0 設定
lcdd13=xx	lcd データの GPIO 設定



低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

1 - 1 - 1	1.1 データの CDIO 乳学
	Icu / 一クのGFID 設定
	1 cd 7 一クの GP10 設定
lcddlb=xx	Icd アータの GP10 設定
lcdd17=xx	1cd テータの GP10 設定
lcdd18=xx	lcd テータの GPIO 設定
lcdd19=xx	1cd データの GPIO 設定
lcdd20=xx	lcd データの GPIO 設定
lcdd21=xx	lcd データの GPIO 設定
lcdd22=xx	lcd データの GPIO 設定
lcdd23=xx	lcd データの GPIO 設定
1.1.11	lcd データの GPIO 設定(具体な信号は実
ICCCIK=XX	際の回路と関係する)
	lcd データの GPIO 設定(具体な信号は実
lcdde=xx	際の回路と関係する)
	lcd データの GPIO 設定(具体な信号は実
lcdhsync=xx	際の回路と関係する)
	1cd データの CPIO 設定 (目体か信号け実
lcdvsync=xx	100 / 「 / 00 01 10 設定 (英保な信号な天 際の同致と関係する)
	际の回路と関係する
[lcdl_para]	
Lcd_used=0	
$lcd_x = 800$	
$lcd_y = 480$	
lcd_dclk_freq = 33	
$lcd_pwm_freq = 1000$	
$lcd_pwm_pol = 0$	
lcd_srgb = 0x00202020	
lcd_swap = 0	
lcd if = 0	X
lcd hbp = 215	
1 cd ht = 1055	
$lcd_{h} = 34$	
$lcd_vt = 1050$	
lod by if = 0	
$1cd_{11} = 0$	
$1 c d_{1} h c_{2} = 0$	
$lcd_hv_s888_1f = 0$	
<pre>lcd_hv_syuv_if = 0</pre>	
$lcd_hv_vspw = 0$	
$lcd_hv_hspw = 0$	
$lcd_hv_lde_used = 0$	
<pre>lcd_hv_lde_iovalue = 0</pre>	
$lcd_ttl_stvh = 0$	
$lcd_ttl_stvdl = 0$	
$lcd_ttl_stvdp = 0$	



 $lcd_ttl_ckvt = 0$ $lcd_ttl_ckvh = 0$ $lcd_ttl_ckvd = 0$ $lcd_ttl_oevt = 0$ $lcd_ttl_oevh = 0$ $lcd_ttl_oevd = 0$ $lcd_ttl_sthh = 0$ $lcd_ttl_sthd = 0$ $lcd_ttl_oehh = 0$ $lcd_ttl_oehd = 0$ $lcd_ttl_revd = 0$ $lcd_ttl_datarate = 0$ $lcd_ttl_revsel = 0$ $lcd_ttl_datainv_en = 0$ $lcd_ttl_datainv_sel = 0$ $1cd_1vds_ch = 0$ 1cd lvds mode = 0 $lcd_lvds_bitwidth = 0$ $lcd_lvds_io_cross = 0$ $lcd_cpu_if = 0$ $1 cd_cpu_da = 0$ $1cd_frm = 0$ $lcd_io_cfg0 = 0x10000000$ $lcd_io_cfg1 = 0$ lcd_io_strength =0 $lcd_bl_en_used = 1$ lcd_bl_en = port:PH07<1><0><default><1> lcd power used = 1lcd_power = port:PH08<1><0><default><1> $lcd_pwm_used = 1$ lcd_pwm = port PB02<2><default><default><default> lcd_gpio_0 lcd_gpio_1 = lcd_gpio_2 $lcd_gpio_3 =$ lcdd0 = port:PD00<2><default><default><default><</pre> lcdd1 = port:PD01<2><default><default><default><</pre> lcdd2 = port:PD02<2><default><default><default> lcdd3 = port:PD03<2><default><default><default><</pre> lcdd4 = port:PD04<2><default><default><default> lcdd5 = port:PD05<2><default><default><default> lcdd6 = port:PD06<2><default><default><default> lcdd7 = port:PD07<2><default><default><default><</pre> lcdd8 = port:PD08<2><default><default><default><</pre> lcdd9 = port:PD09<2><default><default><default>



<pre>lcdd10 = port:PD10<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
<pre>lcdd11 = port:PD11<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
<pre>lcdd12 = port:PD12<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
<pre>lcdd13 = port:PD13<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
lcdd14 = port:PD14<2> <default><default><default></default></default></default>
<pre>lcdd15 = port:PD15<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
<pre>lcdd16 = port:PD16<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
lcdd17 = port:PD17<2> <default><default><default></default></default></default>
<pre>lcdd18 = port:PD18<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
<pre>lcdd19 = port:PD19<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
lcdd20 = port:PD20<2> <default><default><default></default></default></default>
lcdd21 = port:PD21<2> <default><default><default></default></default></default>
lcdd22 = port:PD22<2> <default><default><default></default></default></default>
lcdd23 = port:PD23<2> <default><default><default></default></default></default>
<pre>lcdclk = port:PD24<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
lcdde = port:PD25<2> <default><default><default></default></default></default>
<pre>lcdhsync = port:PD26<2><default><default><default><</default></default></default></pre>
<pre>lcdvsync = port:PD27<2><default><default><default><</default></default></default></pre>

4.4.17 カメラ (CSI)

1. <i>[CSI0_para]</i>	
設定アイティム	意味
csi_used=xx	csi0を使用かどう <mark>か</mark>
csi_twi_id=xx	csi0に使用された iic
	csi0に使用されたモジュール名、ドライバに
	合わせなければならない。ドライバディレクト
csi_mname=xx	リの readme を参考ください。現在は ov7670、
	gc0308、gt2005、hi704、sp0338、mt9m112が選
	択できる。
	csi0に使用されたモジュールの IIC アドレ
csi_twi_addr=xx	ス。ドライバディレクトリの readme を参考く
	ださい。
	使用しているモジュールのインタフェース
•	のシーケンスを設定する
	0:8bit データ回線、Hsync,Vsync 付き
	1:16bit データ回線、Hsync, Vsync 付き
	2:24bit データ回線、Hsync, Vsync 付き
csi_if	3:8bit データ回線 BT656組み込む同期、単一チ
	ャンネル
	4:8bit データ回線、BT656組み込み同期、2重
	チャンネル
	5:8bit データ回線、BT656組み込み同期、4チ
	ャンネル



csi 受信 bu	ıffer モードを設定する:
asi modo $0: \neg \mathcal{O}$) csi 受信が一つの buffer を対応
tSI_mode する、1:二~	つの csi 受信内容を一つの buffer
になる	
csi が接続	するデバイス数を設定する。現在
cs1_dev_qty は1又は2に設	定できる
csi が写真	を受信する時、上下逆転の状況。
0:正常、1	:上下逆転
csi が写真	を受信する時、左右逆転の状況。
cs1_nf11p 0:正常、1	: 左右逆転
csi が star	ıby に入る時の処理を設定する。
csi_stby_mode 0:パワーor	n、stanbyioを引く;1:パワー 🧼
off, stanby	io を引く
csi ioのノ	ペワーソースを設定する。 📑 🖌
"axp20_p1	l1":パワーが pmu の ldo3から生
成。	
"axp20_ho	dmi":パワーが pmu の ldo4から生
csi_iovdd 成。	
"":非 pmu	の 1do から生成。
一般的には	は、本ボードでは""に設定する。
他のソリュー	-ションでは "axp20_p11 "に設定
する。	
csi avdd ۸	^ペ ワーソースを <mark>設</mark> 定する。
"axp20_p11	*・パワーが pmuの 1do3から生成。
"axp2 <mark>0_</mark> hdm	i"・パワーが pmuの 1do4から生成。
csi_avdd "":非 pmu の)1do から生成。
一般的には	t、本ボードでは""に設定する。
他のソリュー	-ションでは"axp20_p11"に設定
する。	
csi dvdd /	ペワーソースを設定する。
"axp20_p11	":パワーが pmuの 1do3から生成。
"axp20_hdmi	i":パワーが pmuの1do4から生成。
csi_dvdd "":非 pmu の)ldo から生成。
一般的には	は、本ボードでは""に設定する。
他のソリュー	-ションでは"axp20_p11"に設定
する。	
モジュール	^から CSI0に送信した clock の
GPI0 設定	
CSIOからモ	·ジュールに送信した clock の
GPI0 設定	
csi0からモ	ジュールに送信した行同期信号
CS1_IISVIIC=XX の GPIO 設定	
モジュール	から csi0に送信したフレーム同
USI_VSYIIC-XX 即信早の CDT	
·别信 万07 GF1	0 設定



低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

	データの GPIO 設定
csi_d15=xx	
csi_reset=xx	モジュールの reset 制御する GPIO 設定、デ フォルトでは reset が有効。(モジュールによ って、High レベルで有効又は Low レベルで有 効となる)
csi_power_en=xx	モジュールのパワーの gpio 設定。 csi_stby_mode=0の場合に、csi_power_en=1 をデフォルトにする。csi_stby_mode=1の場合 に、csi_power_en=0をデフォルトにする。
csi_stby=xx	モジュールの standby の gpio 設定。デフォ ルトでは standby 有効。(モジュールによって、 High レベルで有効、又は Low レベルで有効。)
csi_reset_b=xx	二つのモジュールは同時に一つの CSL に接 続する時に、別の io 制御が必要ある。モジュ ールの reset の GPIO 設定、デフォルトでは reset 有効。(モジュールによって、High レベ ルで有効、又は Low レベルで有効)
csi_power_en_b=xx	二つのモジュールは同時に一つの CSI に接 続する時に、別の io 制御が必要ある。モジュ ールのパワーの gpio 設定。csi_stby_mode=0 の場合に、csi_power_en=1 をデフォルトする。 csi_stby_mode=1の場合に、csi_power_en=0 をデフォルトする。
csi_stby_b=xx	二つのモジュールは同時に一つの CSI に接 続する時に、別の io 制御が必要ある。モジュ ールの standby の gpio 設定。standby が有効 をデフォルトする。(モジュールによって、High レベルで有効、又は Low レベルで有効)
設定の例・	
[csi0_para]	
csi_used = 1	
csi_dev_qty = 1	
$csi_stby_mode = 0$	
csi_mname = "gc0308"	
$csi_if = 0$	
$cs1_1ovdd = ""$	
csi_avaa =	
csi_uvuu - csi vol iovdd =	



 $csi_vol_dvdd =$ csi vol avdd = $csi_vflip = 0$ $csi_hflip = 0$ $csi_flash_pol = 0$ $csi_facing = 0$ $csi_twi_i = 1$ $csi_twi_addr = 0x42$ csi_pck = port:PE00<3><default><default><default> csi_ck = port:PE01<3><default><default><default><</pre> csi_hsync = port:PE02<3><default><default><default> csi vsync = port:PE03<3><default><default><default> csi_d0 = port:PE04<3><default><default><default><</pre> csi_d1 = port:PE05<3><default><default><default> csi_d2 = port:PE06<3><default><default><default><</pre> csi d3 = port:PE07<3><default><default><default> csi d4 = port:PE08<3><default><default><default> csi_d5 = port:PE09<3><default><default><default> csi_d6 = port:PE10<3><default><default><default> csi_d7 = port:PE11<3><default><default><default> csi reset = port:PH13<1><default><default><0> csi_stby = port:PH19<1><default><default><0>

2 [CSI1_para]

設定アイティム csi_used=xx csi_twi_id=xx

csi_mname=xx

csi_twi_addr=xx

csi_if

意味 cs10を使用かどうか csi0に使用された iic csi0に使用されたモジュール名、ドライバに 合わせなければならない。ドライバディレクト りの readme をご参照ください。現在は ov7670, gc0308, gt2005, hi704, sp0338, mt9m112 が選択できる。 csi0に使用されたモジュールの IIC アドレ ス。ドライバディレクトリの readme をご参照 ください。 使用しているモジュールのインタフェース のシーケンスを設定する: 0:8bit データ回線、Hsync, Vsync 付き 1:16bit データ回線、Hsync, Vsync 付き 2:24bit データ回線、Hsync, Vsync 付き 3:8bit データ回線 BT656組み込む同期、単一チ ャンネル 4:8bit データ回線、BT656組み込み同期、2重 チャンネル 5:8bit データ回線、BT656組み込み同期、4チ



ャンネル

csi_mode	csi 受信 buffer を設定する:0:一つの csi 受信が一つの buffer を対応する、1:二つの csi 受信内容を一つの buffer になる
csi_dev_qty	csi が接続するデバイス数を設定する。現在 は1又は2に設定できる
csi_vflip	csi が写真を受信する時、上下逆転の状況。 0 : 正常 ; 1 : 上下逆転
csi_hflip	csi が写真を受信する時、左右逆転の状況。 0 : 正常 ; 1 : 左右逆転
csi_stby_mode	csi が stanby に入る時の処理を設定する。 0:パワーon、stanbyio を引く;1:パワー off、stanbyio を引く
csi_iovdd	 csi io のパワーソースを設定する. "axp20_p11":パワーは pmu の 1do3から生成。 "axp20_hdmi":パワーは pmu の 1do4から生成。 " ":非 pmu の 1do から生成。 一般的には、本ボードは" "に設定される。 多くのソリューションでは「axp20_p11」に設定される。
csi_avdd	 csi avdd パワーソースを設定する。 "axp20_p11":パワーは pmu の 1do3から生成。 " axp20_hdmi":パワーは pmu の 1do4から生成。 " ************************************
csi_dvdd	 csi dvdd パワーソースを設定する。 "axp20_p11":パワーは pmu の 1do3から生成。 "axp20_hdmi":パワーは pmu の 1do4から生成。 ":非 pmu の 1do から生成。 一般的には、本ボードは""に設定される。 多くのソリューションでは「axp20_p11」に 設定される。
csi_pck=xx	モジュールから CSI0に送信した clock の GPI0 設定
csi_ck=xx	CSIOからモジュールに送信した clock の GPIO 設定
csi_hsync=xx	csi0からモジュールに送信した行同期信号 の GPI0 設定
csi_vsync=xx	モジュールから csi0に送信したフレーム同



	期信号の CDTO 設定	
	朔百万00010000	
csi_d0=xx …csi_d15=xx	モジュールから csi0に送信した8bit/16bit データの GPIO 設定	
csi_reset=xx	モジュールの reset 制御する GPIO 設定、デ フォルトでは reset が有効。(モジュールによ って、High レベルで有効又は Low レベルで有 効となる)	
csi_power_en=xx	モジュールのパワーの gpio 設定。 csi_stby_mode=0の場合に、csi_power_en=1 をデフォルトにする。csi_stby_mode=1の場合 に、csi_power_en=0をデフォルトにする。	
csi_stby=xx	モジュールの standby の gpio 設定。デフォ ルトでは standby 有効。(モジュールによって、 High レベルで有効、又は Low レベルで有効。)	
csi_reset_b=xx	二つのモジュールは同時に一つの CSI に接 続する時に、別の io 制御が必要ある。モジュ ールの reset の GPIO 設定、デフォルトでは reset 有効。(モジュールによって、High レベ ルで有効、又は Low レベルで有効)	
csi_power_en_b=xx	二つのモジュールは同時に一つの CSI に接 続する時に、別の io 制御が必要ある。モジュ ールのパワーの gpio 設定。csi_stby_mode=0 の場合に、csi_power_en=1 をデフォルトする。 csi_stby_mode=1の場合に、csi_power_en=0 をデフォルトする。	
csi_stby_b = xx	このモジュールは同時に一つの CSI に接 続する時に、別の io 制御が必要ある。モジュ ールの standby の gpio 設定。standby が有効 をデフォルトする。(モジュールによって、High レベルで有効、又は Low レベルで有効)	
設定の例:		
[csi1 para]		
$csi_used = 0$		
_ csi_dev_qty = 1		
$csi_stby_mode = 0$		

- csi_mname = "gc0308" csi_if = 0 csi_iovdd = ""
- csi_avdd = ""







csi dvdd = "" csi_vol_iovdd = csi_vol_dvdd = csi_vol_avdd = $csi_vflip = 0$ $csi_hflip = 0$ $csi_flash_pol = 0$ csi_facing = 1 $csi_twi_i = 1$ csi_twi_addr = 0x42 csi_pck = port:PG00<3><default><default><default> csi ck = port:PG01<3><default><default><default> csi_hsync = port:PG02<3><default><default><default> csi_vsync = port:PG03<3><default><default><default> csi_d0 = port:PG04<3><default><default><default><</pre> csi_d1 = port:PG05<3><default><default><default><</pre> csi d2 = port:PG06<3><default><default><default> csi_d3 = port:PG07<3><default><default><default> csi_d4 = port:PG08<3><default><default><default> csi_d5 = port:PG09<3><default><default><default> csi_d6 = port:PG10<3><default><default><default> csi_d7 = port:PG11<3><default><default><default><</pre> csi_reset = port:PH14<1><default><default><0> csi_stby = port:PH19<1><default><default><0>

4.4.18 TV 出力(TV OUT)

1. [TVOUT_para] 設定アイティム tvout_used=xx tvout_channel_num=xx tv_en=xx

意味

2. [tvin_para]

設定アイティム tvout_used=xx tvout_channel_num=xx 意味

4.4.19 SATA ディスク

1、[sata_para] 設定アイティム sata_used=xx

意味



sata_power_en=xx

設定の例: [sata_para] Sata_used=1 Sata_power_en=port:PH17<1><default><default>

4.4.20 TF/MMC

1 、 [mmc0_para]	
設定アイティム	意味
	SDC を使用かどうか。
sdc_used=xx	1:使用 🗧 🧲
	0:未使用
	検査モード:
	1、GPI0 検査
	2、DATA 検査
sdc_detmode=xx	3、検査なし、カードは常に付き
	4、manual mode(from proc file system
n	ode)
	ビット幅:
bus_width=xx	1:1bit
	4:4bit
sdc_d1=xx	sdc data1の gpio 設定
sdc_do=xx	sdc data0の gpio 設定
sdc_c1k=xx	sdc clkの gpio 設定
sdc_cmd=xx	sdc cmdのgpio設定
sdc_d3=xx	sdc data3の gpio 設定
sdc_d2=xx	sdc data2の gpio 設定
sdc_det=xx	sdc detのgpio設定
sde uso wayy	sdc の書き保護設定:
Suc_use_wu-xx	1:使用、0:未使用
sdc_wp=xx	sdc WPの gpio 設定
設定の例:	
[mmc0_para]	
$sdc_used = 1$	
$sdc_detmode = 1$	
$sdc_buswidth = 4$	
sdc_c1k = port:PF02<2><1><2>	<default></default>
$sdc_cmd = port:PF03<2><1><2>$	<default></default>
$sdc_d0 = port:PF01<2><1><2><$	default>
sdc_d1 = port:PF00<2><1><2><	default>
sdc_d2 = port:PF05<2><1><2><	default>



sdc_d3 = port:PF04<2><1><2><default>
sdc_det = port:PH1<0><1><default><default><default>
sdc_use_wp = 0
sdc_wp =
sdc_isio = 0
sdc_regulator = "none"

2. [mmc1_para]

```
設定アイティム
                            意味
                            SDC を使用かどうか。
 sdc_used=xx
                            1:使用
                            0:未使用
                            検査モード:
                            1、GPIO 検査
                            2、DATA 検査
 sdc_detmode=xx
                            3、検査なし、カードは常に付き
                            4, manual mode(from proc_file system
                          node)
                            ビット幅:
 bus_width=xx
                            1:1bit
                            4:4bit
                            sdc data1の gpio 設定
 sdc_d1=xx
                            sdc data0の gpio 設定
 sdc_do=xx
                            sdc clkのgpio 設定
 sdc_clk=xx
 sdc_cmd=xx
                            sdc cmd の gpio 設定
                             sdc data3の gpio 設定
 sdc_d3=xx
 sdc_d2=xx
                            sdc data2の gpio 設定
                            sdc det の gpio 設定
 sdc_det=xx
                            sdc の書き保護設定:
 sdc_use_wp=xx
                             1:使用、0:未使用
                            sdc WPのgpio設定
 sdc_wp=xx
設定の例:
 [mmc1_para]
 sdc\_used = 0
 sdc_detmode = 4
 sdc_buswidth = 4
 sdc_clk = port:PG00<2><1><2><default>
 sdc_cmd = port:PG01<2><1><2><default>
 sdc_d0 = port:PG02<2><1><2><default>
 sdc_d1 = port:PG03<2><1><2><default>
 sdc d2 = port:PG04<2><1><2><default>
 sdc_d3 = port:PG05<2><1><2><default>
 sdc_det =
 sdc\_use\_wp = 0
```



sdc_wp =
sdc_isio = 0
sdc_regulator = "none"

3. [mmc2_para]

設定アイティム 意味 SDC を使用かどうか。 1:使用 sdc_used=xx 0:未使用 検査モード: 1、GPIO 検査 2、DATA 検査 sdc_detmode=xx 3、検査なし、カードは常に付き 4, manual mode(from proc file system node) ビット幅: bus_width=xx 1:1bit 4:4bit sdc data1の gpio 設定 sdc_d1=xx sdc_do=xx sdc data0の gpio 設定 sdc_clk=xx sdc clkのgpio設定 sdc_cmd=xx sdc cmd の gpio 設定 sdc_d3=xx sdc data3の gpio 設定 sdc data2の gpio 設定 sdc_d2=xx sdc_det=xx sdc det の gpio 設定 sdc の書き保護設定: sdc_use_wp=xx 1:使用、0:未使用 sdc WPのgpio設定 sdc_wp=xx 設定の例: [mmc2_para] sdc_used = $sdc_detmode = 3$ $sdc_buswidth = 4$ sdc_cmd = port:PC06<3><1><2><default> sdc_clk = port:PC07<3><1><2><default> sdc_d0 = port:PC08<3><1><2><default> sdc_d1 = port:PC09<3><1><2><default> sdc_d2 = port:PC10<3><1><2><default> sdc_d3 = port:PC11<3><1><2><default> $sdc_det =$ $sdc_use_wp = 0$ $sdc_wp =$ $sdc_isio = 0$ sdc_regulator = "none"



4. [mmc3_para]	
設定アイティム	意味
	SDC を使用かどうか。
sdc_used=xx	1:使用
	0:未使用
	検査モード:
	1、GPIO 検査
	2、DATA 検査
sdc_detmode=xx	3、検査なし、カードは常に付き
	4, manual mode(from proc file system
	node)
	ビット幅:
bus width=xx	1:1bit
_	4:4bit
sdc d1=xx	sdc data1の gpio 設定
sdc_do=xx	sdc data0の gpio 設定
	sdc clkのgpio設定
sdc_cmd=xx	sdc cmdのgpio設定
sdc_d3=xx	sdc data3の gpio 設定
sdc_d2=xx	sdc data2の gpio 設定
sdc_det=xx	sdc detのgpio設定
	sdc の書き保護設定:
sdc_use_wp=xx	1 : 使用、0 : 未使用
sdc_wp=xx	sdc WPの gpio 設定
設定の例:	
[mmc3_para]	
sdc_used = 1	
sdc_detmode = 1	
sdc_buswidth = 4	
$sdc_cmd = port:PI04<2><1><2$	2> <default></default>
sdc_clk = port:PI05<2><1><2	2> <default></default>
sdc_d0 = port:PI06<2><1><2>	> <default></default>
sdc_d1 = port:PI07<2><1><2>	> <default></default>
sdc_d2 = port:PI08<2><1><2>	> <default></default>
sdc_d3 = port:PI09<2><1><2>	> <default></default>
<pre>sdc_det = port:PH16<0><1><</pre>	default> <default></default>
$sdc_use_wp = 0$	
sdc_wp =	
sdc_isio = 1	
sdc_regulator = "none"	





4.4.21 メモリスティック (menory stick)

意味

1:使用

0:未使用

msを使用かどうか。

MS BS の GPIO 設定

ms clkのgpio 設定

ms data0の gpio 設定 ms data1の gpio 設定

ms data2の gpio 設定

ms data3の gpio 設定

sdc det の gpio 設定

1, [ms_para]

設定アイティム

ms_used=xx

Ms_bs=xx

```
ms_clk=xx
ms_d0=xx
ms_d1=xx
ms_d2=xx
ms_d3=xx
sdc_det=xx
```

設定の例:

[ms_para]

```
ms_used = 0
ms_bs = port:PH06<5><default><default><default><default><default><
ms_clk = port:PH07<5><default><default><default><
ms_d0 = port:PH08<5><default><default><default><default><
ms_d1 = port:PH09<5><default><default><default><default><
ms_d2 = port:PH10<5><default><default><default><default><
ms_d3 = port:PH11<5><default><default><default><default><
ms_d4 = port:PH11<5><<default><default><<default><<default><<default></default><</td>
```

意味

4.4.22 SIM カ

1. [smc_para] 設定アイティム smc_used =xx smc_rst=xx smc_vppen=xx smc_vppp=xx smc_det=xx smc_vccen=xx smc_sck=xx smc_sda=xx

設定の例;

```
[smc_para]
smc_used = 0
```

smc_rst = port:PH13<5><default><default><default>





smc_vppen = port:PH14<5><default><default><default><default><
smc_vppp = port:PH15<5><default><default><default><
smc_det = port:PH16<5><default><default><default><
smc_vccen = port:PH17<5><default><default><default><
smc_sck = port:PH18<5><default><default><default><
smc_sck = port:PH18<5><default><default><default><</sr>

意味

1:使用 0:未使用

PS/2を使用かどうか:

PS/2 SCK の GPIO 設定

PS/2 SDA の GPIO 設定

4.4.23 PS/2 マウス

1. *[ps2_0_para]* 設定アイティム

ps2_used=xx

ps2_sc1 =xx ps2_sda=xx

設定の例:

[ps2_0_para]
ps2_used = 0
ps2_scl = port:PI20<2><1><default><default>
ps2_sda = port:PI21<2><1><default><default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></defaul

2. *[ps2_1_para]* 設定アイティム

ps2_used=xx

ps2_sc1 =xx ps2_sda=xx 意味 PS/2を使用かどうか: I:使用 0:未使用 PS/2 SCK の GPI0 設定 PS/2 SDA の GPI0 設定

設定の例:

[ps2_1_para]
ps2_used = 0
ps2_scl = port:PI14<3><1><default><default><
ps2_sda = port:PI15<3><1><default><default>

4.4.24 CAN バス

1. [can_para]

設定アイティム

can_used=xx

意味 CAN を使用かどうか: 1:使用、0:未使用



can_tx =xx
can_rx=xx

CAN TX の GPIO 設定 CAN RX の GPIO 設定

設定の例

[can_para] can_used = 0

can_tx = port:PA16<3><default><default><default><</pre>

can_rx = port:PA17<3><default><default><default><</pre>

4.4.25 マトリックスキーボード (key martrix)

1. [keypad_para]	
設定アイティム	意味 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十
	KEYPAD 使用かどうか;
kp_used=xx	1:使用
	0:未使用
kp_in_size=xx	KEYPAD 列幅
kp_out_size=xx	KEYPAD 行幅
kp_in0=xx	KEYPAD INOの GPIO設定
kp_in1=xx	KEYPAD IN1の GPIO 設定
kp_in2=xx	KEYPAD IN2の GPIO 設定
kp_in3=xx	KEYPAD IN3の GPIO 設定
kp_in4=xx	KEYPAD IN4の GPIO 設定
kp_in5=xx	KEYPAD IN5の GPIO 設定
kp_in6=xx	KEYPAD IN6の GPIO 設定
kp_in7=xx	KEYPAD IN7の GPIO 設定
kp_out0=xx	KEYPAD OUTOの GPIO 設定
kp_out1=xx	KEYPAD OUT1の GPIO 設定
kp_out2=xx	KEYPAD OUT2の GPIO 設定
kp_out3=xx	KEYPAD OUT3の GPIO 設定
kp_out4=xx	KEYPAD OUT4の GPIO 設定
kp_ou5=xx	KEYPAD OUT5の GPIO 設定
kp_out6=xx	KEYPAD OUT6の GPIO 設定
kp_ou7=xx	KEYPAD OUT7の GPIO 設定
*	

設定の例:

[keypad_para] kp_used = 0 kp_in_size = 8 kp_out_size = 8 kp_in0 = port:PH08<4><1><default><default> kp_in1 = port:PH09<4><1><default><default> kp_in2 = port:PH10<4><1><default><default> kp_in3 = port:PH11<4><1><default><default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></d



kp_in4 = port:PH14<4><1> <default><default></default></default>
kp_in5 = port:PH15<4><1> <default><default></default></default>
kp_in6 = port:PH16<4><1> <default><default></default></default>
kp_in7 = port:PH17<4><1> <default><default></default></default>
$\label{eq:point} \mbox{kp_out0 = port:PH18<4><1>} \label{eq:point}$
kp_out1 = port:PH19<4><1> <default><default></default></default>
<pre>kp_out2 = port:PH22<4><1><default><default><</default></default></pre>
kp_out3 = port:PH23<4><1> <default><default></default></default>
<pre>kp_out4 = port:PH24<4><1><default><default><</default></default></pre>
<pre>kp_out5 = port:PH25<4><1><default><default></default></default></pre>
<pre>kp_out6 = port:PH26<4><1><default><default><</default></default></pre>
<pre>kp_out7 = port:PH27<4><1><default><default></default></default></pre>

4.4.26 USB コントロールフラグ

1. [usbc0] 意味 設定アイティム usb enbale フラグ (xx=1 or 0)。 1:システムの usb モジュールが使用でき usb used=xx る、0:使用できない。このフラグは具体的 な usb コントローラモジュールに有効とな る。 usb ポートの使用状況。(xx=0/1/2) usb_port_type =xx 0 : device only 1 : host only 2 : OTG usb ポートの検査方法。 usb_detect_type=xx 0:検査なし、1 : vbus/id 検査 USB ID pin の設定。詳細は 「A20_SettingAndGpioControl.pdf」をご参 usb_id_gpio=xx 照ください。 USB DET_VBUS pin ピンの設定。詳細は usb_det_vbus_gpio=xx 「A20_SettingAndGpioControl.pdf」をご参 照ください。 USB DRY_VBUS pin ピンの設定。詳細は 「A20_SettingAndGpioControl.pdf」をご参 usb_drv_vbus_gpio=xx 照ください。 host only モードで Host ポートの初期化 状態。 usb_host_init_state=xx 初期化後 usb 動作しない 1:初期化後 usb 動作する 設定の例: [usbc0] $usb_used = 1$

usb_port_type = 2



-

usb_detect_type = 1			
usb_id_gpio = port:PH04<0><1> <default><default></default></default>			
usb det vbus gpio = port:PH05<1><0> <default><0></default>			
usb drv vbus gpio = po	ush dry vhus gnio = port:PB09 $(1>0)$ default> (0)		
ush restrict $gpio = pc$	ort:PH00<1><0> <default><0></default>		
ush host init state =	0		
ush restric flag = 0	•		
ush restric voltage =	3550000		
ush restric_voltage =	5		
usb_restric_capacity=	0		
2 [ushc1]			
2. [45501] 設定アイティム	音味		
WL MI MA	ush enhale $7 = J$ (vv=1 or 0)		
	usb enbare ノノノ (AA-1 of of)。		
uch ucod-wy	1. () () () () () () () () () () () () ()		
usb_used=xx	る、し、使用できない。このノブグは長体的		
	な usb コントロークモシュールに有効とな		
usb_port_type =xx	usb ホートの使用状況。(XX=0/1/2)		
	0: device only 1: host only 2:016		
usb_detect_type=xx	usbホートの検査方法。		
	0:検査なし、1 : vbus/id 検査		
	USB ID pinの設定。詳細は		
usb_id_gpio=xx	「A20_SettingAndGpioControl.pdf」をご参		
	照ください。		
	USB_DET_VBUS pin ピンの設定。詳細は		
usb_det_vbus_gpio=xx	「A20_SettingAndGpioControl.pdf」をご参		
	照ください。		
	USB DRY_VBUS pin ピンの設定。詳細は		
usb_drv_vbus_gpio=xx	「A20_SettingAndGpioControl.pdf」をご参		
	照ください。		
	host only モードで Host ポートの初期化		
	状態。		
usb_host_init_state=xx	0 : 初期化後 usb 動作しない		
	▶ 1 : 初期化後 usb 動作する		
設定の例:			
[usbc1]			
usb_used = 1			
usb_port_type = 1			
usb_detect_type = 0			
usb drv vbus gpio = port:PH06<1><0> <default><0></default>			
usb_restrict_gpio =			
usb host init state =	1		
usb_restric_flag = 0			



3. [usbc2]	
設定アイティム	意味
	usb enbale フラグ (xx=1 or 0)。
	1:システムの usb モジュールが使用でき
usb_used=xx	る、0:使用できない。このフラグは具体的
	な usb コントローラモジュールに有効とな
	る。
1	usb ポートの使用状況。(xx=0/1/2)
usb_port_type =xx	0: device only 1: host only 2: OTG
	usb ポートの検査方法。
usb_detect_type=xx	0:検査なし、1 : vbus/id 検査
	USB ID pinの設定。詳細は
usb id gpio=xx	「A20 SettingAndGpioControl.pdf」をご参
	照ください。
	USB DET VBUS pin ピンの設定。詳細は
usb det vbus gpio=xx	「A20 SettingAndGpioControl.pdf」をご参
01	照ください。
	USB DRY VBUS pin ピンの設定。詳細は
usb dry ybus gpio=xx	「A20 SettingAndGpioControl.pdf」をご参
	照ください。
	host only モードで Host ポートの初期化
	状能。
usb_host_init_state=xx	0:初期化後usb動作しない
	1 · 初期化後 ush 動作すろ
設定の例:	
[usbc2]	
ush used = 1	
usb_aboa 1 usb_boat type = 1	
ush detect type = 0	X
usb dry vbus gnio = port:	2H03<1><0> <default><0></default>
ush restrict gnio =	
ush host init state = 0	
ush restric flag = 0	
•	
4.4.27 USB Device	
1. [usb feature]	
設定アイティム	意味
vendor id=xx	usb メーカーの ID
mass_storage_id=xx	Uディスクの ID

usb デバッグブリッジ ID manufacturer_name=xx

USB シリアル番号

usb メーカーの名前 USB 製品名

adb_id=xx

product_name=xx

serial_number=xx





設定の例: [usb_feature] vendor_id = 0x18D1 mass_storage_id = 0x0001 adb_id = 0x0002 manufacturer_name = "USB Developer" product_name = "Android" serial_number = "20080411"

2. [msc_feature]

設定アイティム vendor_name=xx product_name=xx release=xx

luns=xx

設定の例:

```
[msc_feature]
vendor_name = "USB 2.0"
product_name = "USB Flash Driver"
release = 100
luns = 2
```

4.4.28 重力センサー (G SENSOR)

1、[gsensor_para] 設定アイティム gsensor_used=xx gsensor_twi_id=xx gsensor_int1=xx

gsensor_int2=xx

設定の例:

[gsensor_para]
gsensor_used = 0
gsensor_twi_id = 1
gsensor_int1 =
gsensor_int2 =

意味

意味

Uディスクのメーカー名

Uディスクの論理的ユニット数 (PCから

ディスクのドライブ数が見られる

Uディスクの製品名

リリーズバージョン

gsensor をサポートするかどうか 12CのBUS コントローラを選択。 0:TWI0、1:TWI1、2:TWI2 割り込み1のGPI0設定 割り込み2のGPI0設定





4.4.29 GPS

1. *[gps_para]* 設定アイティム 意味 gps_used=xx gps_spi_id =xx gps_spi_cs_num =xx gps_lradc=xx $gps_c1k = xx$ gps_sign=xx gps_mag gps_vcc_en gps_osc_en gps_rv_en 設定の例: [gps_para] $gps_used = 0$ $gps_spi_i = 2$ $gps_spi_cs_num = 0$ gps_lradc = 1 gps_clk = port:PI00<2><default><default><default> gps_sign = port:PI01<2><default><default><default> gps_mag = port:PI02<2><default><default> gps_vcc_en = port:PC22<1><default><default><default><</pre> gps_osc_en = port:PI14<1><default><default><0> gps_rx_en = port:PI15<1><default><default><default><0>

4.4.30 WIFI (TFIO)

1. [TFio_wifi_para]	
設定アイティム	意味
TFio_wifi_used=xx	TFIO WIFI を使用かどうか。 1:使用、0:未使用
TFio_wifi_TFc_id =xx	TFIO WIFI に使用された TFC 番号
TFio_wifi_mod_sel =xx	TFio_wifi モジュールの選択: 0 - none、1 - swl - n20(wifi)、2 - usibm - 01(wifi+bt+fm)、3 - ar6302qfn、4 - apm6xxx、 5 - swb b23(wifi+bt+fm)
sw1_n20_shdn=xx	swl_n20_shdnのGPIO設定
swl_n20_host_wakeup=xx	swl_n20_host_wakeupのGPIO設定
sw1_n20_vdd_en=xx	swl_n20_vdd_enのGPI0設定
sw1_n20_vcc_en=xx	swl_n20_vcc_enのGPI0設定





設定の例:

[TFio_wifi_para] TFio_wifi_used = 1 TFio_wifi_TFc_id = 3 TFio_wifi_mod_sel = 1 TFio_wifi_shdn = port:PH09<1><default><default><0> TFio_wifi_host_wakeup = port:PH10<1><default><default><1> TFio_wifi_vdd_en = port:PH11<1><default><default><0> TFio_wifi_vcc_en = port:PH12<1><default><default><0>

4.4.31 WIFI (USB)

1. <i>[usb_wifi_para]</i>	
設定アイティム	意味
	usb enbale フラグ (xx=1 or 0)。
usb_wifi_used=xx	1:usb wifi モジュールが使用できる、
	0:使用できない。
	usb wifi に使用される usb コントローラ
	番号。xxは0、1、2から取られる。
usb_wifi_usbuc_num=xx	usb_host_init_stateと一緒に使わなければ
	ならない。例えば、xx=2、[usbc2]の
	usb_host_init_state は0になる。
[usb_wifi_para]	
usb_wifi_usea = 0	
usb_wiii_usbc_hum - Z	
	\frown
4. 4. 32 3G	
1. [3g_para]	
設定アイティム	意味
3g_used=xx	
3g_usbc_num=xx	
3g_uart_num=xx	
3g_pwr=xx	
Jg_waKeup=xx Jg_int_rvy	
JETHI -YY	
設定の例:	
[3g_para]	
$3g_used = 0$	
3g_usbc_num = 2	



3g_uart_num = 0 3g_pwr = 3g_wakeup = 3g_int =

4.4.33 gyroscope

```
1. [gy_para]
 設定アイティム
                             意味
 gy_used=xx
 gy_twi_id=xx
 gy_twi_addr=xx
 gy_int1=xx
 gy_int2 = xx
 設定の例:
  [gy_para]
 gy\_used = 0
 gy_twi_i = 1
 gy_twi_addr = 0x00
 gy_int1 = port:PH18<6><1><default><default>
 gy_int2 = port:PH19<6><1><default><default>
  4.4.33 光センサ
  1. [ls_para]
 設定アイティム
                              意味
 ls_used=xx
 ls_twi_id=xx
 ls_twi_addr=xx
 ls_int=xx
設定の例:
  [ls_para]
 1s\_used = 0
 ls_twi_id = 1
 ls_twi_addr = 0x00
 ls_int = port:PH20<6><1><default><default>
```



4.4.35 コンパス (compass)

1, [lcompass_para]

```
設定アイティム
compass_used=xx
compass_twi_id=xx
compass_twi_addr=xx
compass_int=xx
```

設定の例:

```
[compass_para]
compass_used = 0
compass_twi_id = 1
compass_twi_addr = 0x00
compass_int = port:PI13<6><1><default><default>
```

意味

4.4.36 bluetooth

1. *[bt_para]*

設定アイティム bt_used=xx bt_uart_id=xx bt_wakeup =xx bt_gpio=xx bt_rst=xx 意味 BLUETOOTH を使用かどうか。 1:使用、0:使用しない BLUETOOTHI に使用された UART 番号 BT WAKEUP の GPIO 設定 BT の選択できる GPIO 設定 BT RESET の GPIO 設定

設定の例;

[bt_para] bt_used = 0

bt_uart_id = 2

bt_wakeup = port:PI20<1><default><default><default><default> bt_gpio = port:PI21<1><default><default><default> bt_rst = port:PB05<1><default><default><default><</pre>

4.4.37 デジタルオーディオバス (I2S)

1. *[i2s_para]* 設定アイティム

i2s_used=xx

i2s_channel=xx i2s_mclk =xx 意味 1:このモジュールをロードする 0:ロードしない。 チャネル制御 I2sMCLK 信号の GPI0 設定



低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

i2s_bclk=xx
i2s_lrclk =xx
i2s_dout0
i2s_dout1
i2s_dout2
i2s_dout3
i2s_din

I2sBCLK 信号の GPIO 設定 I2sLRCK 信号の GPIO 設定 I2S out0の GPIO 設定 未使用 未使用 未使用 I2sIN 信号の GPIO 設定

設定の例:

i2s_used = 0 i2s_channel = 2 i2s_mclk = port:PB5<2><1><default><default> i2s_bclk = port:PB6<2><1><default><default> i2s_lrclk = port:PB7<2><1><default><default> i2s_dout0 = port:PB8<2><1><default><default> i2s_dout1 = i2s_dout2 = i2s_dout3 = i2s_din = port:PB12<2><1><default><default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></default></def

4.4.38 デジタルオーディオバス (S/PDIF)

意味

意味

1. [spdif_para]

設定アイティム spdif_used=xx spdif_mclk=xx spdif_dout=xx spdif_din=xx

4.4.38 スピーカー制御

1. [audio_para]

設定アイティム

audio_used=xx

audio_pa_ctrl=xx

audio_lr_change=xx

audio のスピーカーを設定する。 1 : オープン(ディフォルト) 0 : クローズ スピーカーの gpio インタフェース制御 1 : 一部分のチャンネルを逆転する 0 : 普通

設定の例: [audio_para]



audio_used = 1 audio_pa_ctrl = port:PH15<1><default><default><0> audio_lr_change=xx = 0

4.4.40 赤外線(ir)

- 1. [ir_para]
- 設定アイティム ir_used=xx ir0_rx=xx

意味

設定の例:

[ir_para]
ir_used = 1
ir_rx = port:PB04<2><default><default><default><</pre>

4.4.41 PMU パワー

1. [pmu_para] 設定アイティム 意味 pmu enable フラグ (xx=1 or0) pmu_used=xx 1:使用 0:未使用 pmu デバイスのアドレス pmu_twi_addr=xx pmu にロードされた i2c コントローラの番 pmu_twi_id=xx **号。○:**twi0、1:twi1、2:twi2 pmu の割り込み番号。 ▶0:NMT、1:1番目割り込み、2:2番目割り pmu_irq_id=xx ▲み... バッテリー内部抵抗、mΩ、実際テスト結 pmu_battery_rdc=xx 果によって書く バッテリー容量、mAh、実際テスト結果に pmu_battery_cap=xx よって書く 起動充電電流を設定、mA、 300/400/500/600/700/800/900 pmu_init_chgcur=xx /1000/1100/1200/1300 /1400/1500/1600/1700/1800 画面オフの充電電流を設定、mA、 300/400/500/600/700/800/900 pmu_earlysuspend_chgcur=xx /1000/1100/1200/1300 /1400/1500/1600/1700/1800 休止状態の充電電流、mA, 300/400/500/600/700/800/900 pmu_suspend_chgcur=xx /1000/1100/1200/1300



/1400/1500/1600/1700/1800 ウェークアップの充電電流を設定、mA、 300/400/500/600/700/800/900 pmu_resume_chgcur=xx /1000/1100/1200/1300 /1400/1500/1600/1700/1800 シャットダウンの充電電流を設定。mA、 300/400/500/600/700/800/900 pmu_shutdown_chgcur=xx /1000/1100/1200/1300 /1400/1500/1600/1700/1800 充電対象の電圧を設定。mV, pmu_init_chgvol=xx 4100/4150/4200/4360 充電終了の電流比率を設定。%, 10, 15 pmu_init_chgend_rate=xx 充電機能を設定。 pmu init chg enabled=xx 0:クローズ、1:オープン adc のサンプリング周波数を設定。Hz, pmu_init_adc_freq=xx 25/50/100/200 クーロンメータのサンプリング周波数を pmu_init_adc_freqc=xx 設定。Hz, 25/50/100/200 プリチャージのタイムアウト時間を設定。 pmu_init_chg_pretime=xx min, 40/50/60/70 定電流充電のタイムアウト時間を設定。 pmu_init_chg_csttime=xx min, 360/480/600/720 無負荷バッテリー電圧に対応する比率を pmu_bat_para1=xx 設定、%。 無負荷バッテリー電圧に対応する比率を pmu_bat_para2=xx 設定、%。 無負荷バッテリー電圧に対応する比率を pmu_bat_para3=xx 投定、%。 pmu_bat_para4=xx 無負荷バッテリー電圧に対応する比率を . . . 設定、%。 pmu_bat_para16=xx usb の電圧制限機能を設定。 pmu_usbvol_limit=xx 0:クローズ、1:オープン usb の制限電圧を設定。mV、 pmu_usbvol=xx 4000/4100/4200/4300/4400/4500/4600/4700 usb の電流制限機能を設定。 pmu_usbcur_limit=xx 0:クローズ、1:オープン usbの制限電流を設定。mA, 100/500/900 pmu_usbcur=xx 起動時のハードウエアの保護電圧を設定。 pmu_pwroff_vol=xx mV,

2600/2700/2800/2900/3000/3100/3200/3300





パワーオン状態のハードウエアの保護電 圧を設定。mV, pmu_pwron_vol=xx 2600/2700/2800/2900/3000/3100/3200/3300 ハードウエアのシャットダウン時間を設 pmu_pekoff_time=xx 定。ms、4000/6000/8000/10000 ハードウエアのシャットダウン機能を設 pmu pekoff en=xx 定。0:クローズ、1:オープン 長押すキーの割り込み時間を設定。ms, pmu_peklong_time=xx 1000/1500/2000/2500 pmu_pekon_time=xx 起動時間を設定。ms, 128/1000/2000/3000 パワー起動後の pwrok 信号遅延時間を設 pmu_pwrok_time=xx 定。ms, 8/64 n_oe が低いから高くなった後、シャット pmu_pwrnoe_time=xx ダウン遅延時間を設定。ms, 128/1000/2000/3000 過熱シャットダウン機能を設定。 pmu_intotp_en=xx 0:クローズ、1:オープン 他のケースのために設定したパラメータ。 pmu_adpdet~ pmu_used2=xx pmu_shutdown_chgcur2と合わせって実行す る。0:クローズ;1:オープン 他のケースのために設定したパラメータ。 アダプタ検出ポートの設定。詳細は上述の pmu_adpdet=xx gpio設定にご参考ください。 他のケースのために設定したパラメータ。 アダプタに挿し込む時、起動充電電流の設 pmu_init_chgcur2=xx 定。pmu_init_chgcur と同じ。 他のケースのために設定したパラメータ。 アダプタに挿し込む時、画面オフ充電電流の pmu_earlysuspend_chgcur2=xx 設定。pmu_earlysuspend_chgcur と同じ。 他のケースのために設定したパラメータ。 pmu_suspend_chgcur2=xx アダプタに挿し込む時、休止状態の充電電流 の設定。pmu_suspend_chgcur と同じ。 他のケースのために設定したパラメータ。 アダプタに挿し込む時、ウェイクの充電電流 pmu_resume_chgcur=xx の設定。pmu_resume_chgcur と同じ。 他のケースのために設定したパラメータ。 アダプタに挿し込む時、シャットダウンの充 pum_shutdown_chgcur2=xx 電電流の設定。pmu_shutdown_chgcur と同 じ。 休止シャットダウンの電圧の設定。mV、 pmu_suspendpwroff_vol=xx 2867-4200、6mV で1段階。





pmu_batdeten=xx

バッテリー検出機能の設定。 0:クローズ、1:オープン

注意:pmu_used2[~] pmu_shutdown_chgcur2のパラメータは他のケースのために設定したインタフェース である。削除しても構わない。

設定の例:

[pmu_para] $pmu_used = 1$ $pmu_twi_addr = 0x34$ $pmu_twi_i = 0$ pmu_irq_id = 32 $pmu_battery_rdc = 100$ pmu_battery_cap = 3200 pmu_init_chgcur = 300 pmu_earlysuspend_chgcur = 600 pmu_suspend_chgcur = 1000 pmu_resume_chgcur = 300 pmu_shutdown_chgcur = 1000 pmu_init_chgvol = 4200 pmu_init_chgend_rate = 15 pmu_init_chg_enabled = 1 pmu_init_adc_freq = 100 pmu_init_adc_freqc = 100 pmu_init_chg_pretime = 50 pmu_init_chg_csttime = 720

 $pmu_bat_para1 = 0$ $pmu_bat_para2 = 0$ $pmu_bat_para3 = 0$ pmu_bat_para4 = 0 pmu_bat_para5 = 5 $pmu_bat_para6 = 8$ pmu_bat_para7 = 11 $pmu_bat_para8 = 22$ pmu_bat_para9 = 33 $pmu_bat_para10 = 43$ pmu_bat_para11 = 50 pmu_bat_para12 = 59 pmu_bat_para13 = 71 pmu_bat_para14 = 83 pmu_bat_para15 = 92 pmu_bat_para16 = 100

pmu_usbvol_limit = 1



 $pmu_usbcur_limit = 0$ $pmu_usbvol = 4000$ $pmu_usbcur = 0$ pmu_usbvol_pc = 4400 $pmu_usbcur_pc = 500$ pmu_pwroff_vol = 3300 pmu_pwron_vol = 2900 pmu_pekoff_time = 6000 pmu_pekoff_en = 1 pmu_peklong_time = 1500 pmu_pekon_time = 1000 pmu_pwrok_time = 64 pmu_pwrnoe_time = 2000 pmu_intotp_en = 1 $pmu_used2 = 0$ pmu_adpdet = port:PH02<0><default><default><default><</pre> pmu_init_chgcur2 = 400 $pmu_earlysuspend_chgcur2 = 600$ $pmu_suspend_chgcur2 = 1200$ $pmu_resume_chgcur2 = 400$ $pmu_shutdown_chgcur2 = 1200$

pmu_suspendpwroff_vol = 3500
pmu_batdeten = 1



第五章 Android アプリ環境の構築

5.1 Ubuntu で android アプリ環境を構築

5.1.1 JDK をインストール

まず、oracleのウェブサイトからlinux バージョンのJDKをダウンロードする。 (http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/jdk-6u26download-400750.html)、ここでLinux x86 - Self Extracting Installer を選ぶ。このファイルをデ ィレクトリにコピーし、直接にインストールする。

./jdk-6u26-linux-i586.bin	
失敗の場合に、実行権限を添加する。	
chmod +x ./jdk-6u26-linux-i586.bin	
プログラムが自動的に jdk1.6.0_2 変数を設定する。実行 :	6 ディレクトリにインストールする。インストール終了、次に環境
sudo gedit /etc/profile	
実行中に、(gedit:4849):Gtk-WARNIN ラーが提示される。Sudo mkdir -p/1 ド) ディレクトリを作成レ、問題をf	WG**:Attempting to store changes into /toot/.local というエ root/.local/share/ つまりスーパーユーザーとして(sudo コマン 解決できる。
設定ファイルの最後に次の部分を追	加する。
export JAVA_HOME=/home/jackwong/jdk1.6.0	0_26
export JRE_HOME⇒home/jackwong/jdk1.6.0_	_26/jre
export PATH=/home/jackwong/jdk1.6.0_26/bin	r\$PATH
export CLASSPATH=.:/home/jackwong/jdk1.6.	.0_26/lib:/home/jackwong/jdk1.6.0_26/jre/lib

保存してから、現在のユーザーをログオフし、再度ログインする。この時、環境変数は有効となる。

インストールが成功となるかどうかうを確認する場合に、 下記コマンドを実行:

java –version


java version "1.6.0_26"

Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.6.0_26-b06)

Java HotSpot(TM) Server VM (build 20.0-b11, mixed mode)

このような情報が現れったら、成功。

注意: Ubuntu は openjdk がインストールされたことをデフォルトする。jdk をインストールしていない 場合に、java-versionを実行してもエラーが出ない。しかし、両方の報告情報が違う。

5.1.2 eclipse をインストール

eclipse+ADTは公式に推奨された開発環境である。ダウンロードサイト: http://www.eclipse.org/downloads/ 。ここで、32bit linux をダウンロードした。 Eclipse IDE for Java Developers。 ダウンロードしたファイルはeclipse - java - juno - SR1 - linux - gtk.tar.gz 解凍し、コマンドを実行する。

tar zvxf eclipse-java-juno-SR1-linux-gtk.tar.gz

解凍が成功後、eclipse をインストール済のディレクトリがある。このディレクトリに入って、eclipse を実行し、eclipse を起動させる。

デスクトップにショートカットを作成する。

5.1.3 Android TFK をインストール

Android TFK Starter Package はTFKの基本的なツールである。これを利用して、他の必要なツールが ダウンロードできる。androidセルファイルを実行し、Android TFK and AVDManagerを起動させる。 ダウンロードサイト: http://developer.android.com/TFk/index.html ここで最新バージョンのandroid - TFk_r21.1 - linux.tgzをダウンロードした。 次に解凍する。

tar zvxf android-TFk_r21.1-linux.tgz

解凍終了、現在のディレクトリには android - TFk - linux_x86 がある。このディレクトリは TFK の基本 的なツールである。



5.1.4 ADT (Android Development Tools) をインストール

ADT は、google が android アプリ開発のために開発された Eclipse のプラグインである。Eclipse を 起動し、 Help > Install New Software....を選ぶ。右上隅の Add ボタンをクリックし、ポップアップし た Add Repository ダイアログボックスの name 欄に「ADT Plugin」を書き込む。Location 欄には二つのオ プションがあり、一つはダウンロードのサイトを記入し、https://dl-ssl.google.com/android/eclipse/。 もう一つのオプションは、もし ADT Plugin を既にダウンロードした場合に、直接に Archive ボタンをクリ ックし、プラグインがあるパッケージを見つける。ここで一番目の方法を使った。二番目の方法は、まず、 Developer TFK Tools 前の checkbox を選択する。次に、next をクリックし、インストールし始める。その 中に、ソフトウエアのインストールリストが現れって、next をクリックする。最後に、現れた license に agree を選び、finish をクリックし、完成。eclipse を再起動する。

5.1.5 ADT (Android Development Tools) を設定

eclipse における ADT プラグインのパスを修正する。(ADT に Android TFK ディレクトリをインストールした)。

eclipseを起動させ、window>preferencesを選択する。

ポップアップした preferences ダイアログボックスの左側に android タグを選択し、右側の TFK location に元の Android TFK ディレクトリを選択する。例えば、ここで/home/AAA/android-TFK-linux_x86 を使用した (AAA はユーザー名)。それから、apply, ok を順次にクリックする。

この過程に、googleの満足度アンケートに参加かどうかというダイアログボックスがポップアップする。 process ボタンをクリックする。

インストール終了、help>check for updates を利用して、ADTを更新する。

5.1.6 Android OSシステムとコントローラを追加

今まで、大部分の設定が完成した。しかし、androidアプリを開発するために、Android OSシステムを 追加する必要がある(アプリケーションをシミュレートすることに使用される)。その上に、TFKツールパッ ケージにおけるAndroid TFK Manager を利用して他のコントローラをインストールする必要。直接に eclipse にWindow > Android TFK Manager 又は、TFk >tools > android を運行してインストールでき る。

次のコントローラを推奨する。

TFK Tools、TFk starter package をインストールする事で既にインストール完了。 TFK Platform - tools、インストール必要。

TFK platform。少なくとも一つ必要。OS システム。同時に 2.2、3.1 をダウンロードしても構わない。 もし各種のプラットフォームをシミュレートしたら、各種バージョンの android をダウンロードする必

要がある。

TFK Platform - tools 、Android 2.3.3、Android 4.1、Extras をダウンロードする。 ダウンロード終了、android の開発環境の構築が完成した。



5.1.7 シミュレータ設定を行う

windows - >Android Virtual Device Manager を選択し、new をクリックする。 Edit Android Virtual Device (AVD) AVD Name: android Device: 4.0" WVGA (480 × 800: hdpi) 0 Android 2.3.3 - API Level 10 0 Target: CPU/ABI: ARM (armeabi) Hardware keyboard present Keyboard: Skin: Display a skin with hardware controls. Front Camera: None Back Camera: 0 None VM Heap: 32 RAM: 512 Memory Options: Internal Storage: 200 MiB 🗘 SD Card: Size: 5 GiB 🗘 File: Browse... Emulation Options: Snapshot Use Host GPU sting AV/D with the same name Override the ex OK Cancel

完成後、startをクリックする。パーチャルマシンを運行し、言語を選択する。

5.1.8 hello, android テストプログラム

eclipse を起動し、File->New->Project...を選択し、android の Android Application Project を選択する。





低価格、高品質が不可能?

日昇テクノロジーなら可能にする

•	New Project	X
Select a wizard Create an Android Applic	ation Project	
<u>W</u> izards:		
type filter text		4
 General Android Android Applicat 	cion Project	
 Android Project f Android Sample I Android Test Pro CVS > > Java > Maven > > Examples 	rom Existing Code Project ject	
?	Back Next > Cancel	<u> </u>
Application name:Hello,An こ表示した文字である。最存	droid、アプリプログラムの名前、同時にプログラム Jの文字は大文字となる必要である。	が実行する時にスクリーン

Project name:HelloAndroid、プロジェクト名、ファイルを含んでいるディレクトリの名前。 Package name my. android、

他の所にはデフォルトのまま。





低価格、高品質が不可能? 日昇テクノロジーなら可能にする

		日昇テクノロジーなら可能にする
•	New Android Application	×
New Android Applicatio	on	
Creates a new Android Ap	oplication	
Application Name:	Hello.android	
Project Name:0	Helloandroid	
Package Name:0	my.helloandroid	
Minimum Required SDK:0	API 8: Android 2.2 (Froyo)	•
Target SDK:0	API 17: Android 4.2 (Jelly Bean)	•
Compile With:0	API 16: Android 4.1 (Jelly Bean)	٥
Theme:0	Holo Light with Dark Action Bar	0
?	< <u>Back N</u> ext >	Cancel <u>Finish</u>
全て next を選択する。Ac 字となる必要である) 完成後、my.android に He 法のコードを更新する。	tivity name をHelloandroidactivityに設 lloandroidactivity.javaを見つける。オー	定する。(注意:最初の文字は大文 -プンして、次のように onCreate 方
import android widget.TextView;		
public void onCreate(Bundle savedInsta	unceState) {	
super.onCreate(savedInstanceState	e);	
TextView tv = new TextView(this)	κ,	
tv.setText("Hello, Android!=你好,	安卓! ");	
setContentView(tv);		
}		





- 1、JDK <u>http://java.sun.com/javase/downloads/index.jsp</u>
- 2、Eclipse : http://www.eclipse.org/downloads/
- 3、Android TFK : http://developer.android.com

次のバージョンをダウンロードした。

jdk – 7u2 – windows – i586

eclipse - TFK - 3.7.1 - win32

installer_r16 - windows. exe(Android TFK) (インストールするに約6[~]7時間がかかる)

二、インストール

JDK、TFK をインストールする。Eclipse を解凍する。

JDK がインストール終了後、次のように環境変数を設定する。

- 1、インストールディレクトリはC:\Program Files\Java\jdk1.7.0_02 だとする。
- 2、インストール終了、「My Computer」「プロパティ」を右クリックする。



3、「高級」を選択し、「環境変数」をクリックする。

4、「システム変数」に、JAVA_HOME, PATH, CLASSPATH 三つのプロパティを設定する(大文字でも 小文字でも使える)。もう既にある場合に、「編集」をクリックする。ない場合に、「新規」をクリ ックする。

5、JAVA_HOME は JDK のインストールしたパスを指定する。即、C:\Program Files\Java\jdk1.7.0_02

PATH はシステムが任意のパスに JAVA コマンドを識別させる。次のように設定する:

%JAVA_HOME%¥bin;%JAVA_HOME%¥jre¥bin

CLASSPATH は java のためにクラスのパス(class or lib)。classpath にある場合、java コマンドが識別できる。次のように設定する:

.;%JAVA_HOME%\lib\dt.jar;%JAVA_HOME%\lib\tools.jar(.を追加必要、現在のパスを表明する) %JAVA_HOME%は前述したJAVA_HOMEを引用。

TFK インストール終了、環境変数を設定する。Path にC:\Program Files\Android\android - TFk\tools;を追加する。

三、Eclipseを設定。

1) Eclipse をクリックし、 help - >Install New SoftWare を選択する。 Add ボタンをクリック し、次の画面が出る:

ſ	🕒 Add Re	pository					x
	<u>N</u> ame: <u>L</u> ocation:	 http://				L <u>o</u> cal <u>A</u> rchive	
	?		3		ок	Cance	
URL を入 名前:A	2) 上図の 力する:h ndroid(カ. 3) 全部達	Y通りに、 ttps://dl_ss スタマイズ可 試択する	sl.google.com/a 能)	ndroid/ec	lipse		



nvariable somware						-
Check the items that you wish to install.						0
Work with: andriod - https://di-sslgoogle.com/android/edipse/					•	ådd
		R	nd more software by v	vorking with the <u>Availa</u>	able Software Sites" p	velerer
ype filter text						
Name	Version					
a 📝 🎟 Developer Tools						
👿 🍫 Android DOMS	15.0.1+201111031820-219398					
🐷 🚭 Android Development Tools	15.0.1+201111031820-219398					
📝 🍫 Android Hierarchy Viewer	15.0.1×201111031820-219398					
🐷 🍪 Android Traceview	15.0.1+201111051820-219598					
Select Al Deselect Al 4 items selected						
Select All Deselect All 4 items selected						
Select Al Deselect All 4 items selected Details						
Select All Deselect All 4 items selected Details		⊡ijde kons that are already int	taled	-		
Select All Deselect All 4 items selected Details If those only the Jatest versions of available software If group items by category		☐gide items that are already ins What is <u>already installed</u> ?	taled	=		
Select Al Detelect Al 4 items selected Detelect Al Encode selected Detelect Bit set services of available software 2) Stroup items by cottogery 2) Group items by cottogery 2) Contact all update sites during install to 5nd required software		Edde items that are already ins What is <u>already installed</u> ?	taled			

4) Eclipse を再起動するまでに、提示の通りに操作する。

インストールする時、「org. eclipse. core. runtime3. 6. 0」がなし又は見つけられない問題が起こった 起こったケースもある。その時、最新バージョンのEclipseをダウンロードし、問題を解決したが、新 しい問題を起こった。1)、2)手順を再度に実行し、「Duplicate location」エラーが出た。解決方法 は:help - >Install New SoftWareをクリックし、



🖨 Install		
Available Software Select a site or enter th	he location of a site.	
Work with: ⁰ type or selec	ct a site Find more software by working with the <u>"Available Software Sites</u>	<u>A</u> dd preferences.
type filter text		
Name	Version	
Select All Deselect Details	t All	
Group items by category	Profile items that are aiready installed What is already installed?	
Show only software appl	licable to target environment	
Contact all update site	es during install to find required software	
•	<u>Eack</u> <u>Back</u> <u>Einish</u>	Cancel

Available software stites をクリックし、次のインタフェースに入る。

pe filter text	Available Software Sites		(p - c)
General Android Ant Help	type filter text		
Install/Update Automatic Updates		https://dl-ssl.google.com/android/eclipse/ http://download.eclipse.org/releases/indig	<u>H</u> ud
Java	The Eclipse Project Updates	http://download.eclipse.org/eclipse/update	Remov
- Flug-in Development - Run/Debug		http://dev.eclipse.org/birt/update-si	Re <u>l</u> oa
J Team J XML		http://download.eclipse.org/datatools/upda http://download.eclipse.org/egit/updates	<u>D</u> isabl
		http://download.eclipse.org/jwt/update-sit http://download.eclipse.org/mat/1.1/update	Import.
		http://download.eclipse.org/modeling/emf/u	Export.
		http://download.eclipse.org/modeling/emit/	
		http://download.eclipse.org/modeling/emft/ http://download.eclipse.org/modeling/gmf/u	
		http://download.eclipse.org/modeling/gmf/u	
		http://download.eclipse.org/modeling/m2t/u	
		http://download_eclipse_org/modeling/m2t/x	

androidを選択し、remove ボタンをクリックする。Ok.

これまで、Eclipse に android の開発プラグインをインストール終了。



次に、Eclipse に android TFK を設定する。

1) メニューwindow->preferences をクリックし、次のインタフェースに入る。

Preferences				
type filter text	Android		<	⊳ • ⇔ • •
General General	Android Preferences			
Build	SDK Location: C:\Program	Files\Android\android-sdk		Browse
DDMS	Neter The Diet of CDV Torres		' 01/	
Editors	Note. Ine list of SDA larg	gets below is only reloaded once you hit Apply or	UK .	
Launch	Target Name	Vendor	Platform	API L
Lint Error Checking	Android 1.5	Android Open Source Project	1.5	3
LogCat	Google APIs	Google Inc.	1.5	3
Usage Stats	Android 1.6	Android Open Source Project	1.6	4
Ant.	Google APIs	Google Inc.	1.6	4
Help	Android 2.1	Android Open Source Project	2.1	7
Tretall/Indate	Google APIs	Google Inc.	2.1	7
Autoritic Meditic	Android 2.2	Android Open Source Project	2.2	8
Automatic Opdates	Google APIs	Google Inc.	2.2	8
Available Software Si	DTS Add-On	KYOCERA Corporation	2.2	8
Java	Real3D Add-On	LGE	2.2	8
Plug-in Development	GALAXY Tab Addon	Samsung Electronics Co., Ltd.	2.2	8
Run/Debug	Android 2.3.3	Android Open Source Project	2.3.3	10
l-Team	Google APIs	Google Inc.	2.3.3	10
XMT	DTS Add-On	KYOCERA Corporation	2.3.3	10
1 11112	Real3D Add-On	LGE	2.3.3	10
	EDK 1.2	Sony Ericsson Mobile Communications AB	2.3.3	10
	Android 3.1	Android Open Source Project	3.1	12
	Google APIs	Google Inc.	3.1	12
	Android 3.2	Android Open Source Project	3.2	13
	Google APIs	Google Inc.	3.2	13
	Android 4.0	Android Open Source Project	4.0	14
	Google APIs	Google Inc.	4.0	14
	Android 4.0.3	Android Open Source Project	4.0.3	15
	Google APIs	Google Inc.	4.0.3	15
	Android + Google APIs	Re	store Defaults	Ápply
?				Cancel

Location に android TFK のパスを書き込む。

上述が終わったら、AVD (android virtual device)を作成する。下図の通りに、virtual device を選択 すると、

🔁 Android SDK and AVD Manager						
Virtual devices	List of existing A	Android Virtual Devices	located at (:\Users\Adı	ministrator\.andı	roid\avd
Available packages	AVD Name	Target Name	Platform	API Level	CPU/ABI	New
	✓ AVD2.3	Android 2.3	2.3	9	ARM (arme	Edit
						Delete
						Repair
						Details
						Start
						Refresh
	🗸 A valid Andı	roid Virtual Device. 📐	A repairable	Android Vi	rtual Device.	
	× An Android	Virtual Device that faile	d to load. C	lick 'Details'	to see the error	r.



New をクリックと、

Create ne	ew Android Virtual Device (AVD)	
Name:	android2.2	
Target:	Android 2.2 - API Level 8	
CPU/ABI:	ARM (armeabi)	
SD Card:		
	Size: 256 MiB ▼	
	◎ File: Browse	
Snapshot:		=
	Enabled	
Skin:		
	Built-in: HVGA	
	© Resolution: x	
Hardware:		
	Property Value New	
	Abstracted LCD density 160	
	Max VM application h 24	
Override	e the existing AVD with the same name	
	Create AVD Cancel	

Name (パーチャルマシン、任意) Target (開発に使用されたバージョン) TF Card(アナログメモリのサイズ、任意) Skin (スクリーンサイズのパラメータ) 上述のパラメータを書き込んで、Create AVD をクリックし、設定終了。

4) 2.2 バージョンのシミュレータを作成した。このシミュレータを選択し、右側の start ボタンをク リックする。正常に設定すれば、シミュレータのインタフェースが現れる。(少なくとも 2-5 分がかか る。)





以上。